
ADS-BT_{for} ARCHICAD

トレーニングマニュアル

(Windows 版及び Mac 版共通)

(Archicad28 対応版 Ver15)

目次

1 はじめに

1-1 ご利用にあたって	2
1-1-1 はじめに	2
1-1-2 本マニュアルについて	2
1-1-3 基本操作	2
1-1-4 本マニュアルで用いた略語	2
1-2 本マニュアルのワークフロー	3
1-3 モデルプラン概要	4
1-4 本システムの運用について	5
1-4-1 本システムの高さについて	5
1-4-2 始点と終点	5
1-5 メインパレットについて	6

2 準備をする

2-1 準備のワークフロー	8
2-2 本システムを起動する	9
2-3 ADS データをインポートする	10
2-4 計算対象要素を設定する	12
2-4-1 計画建物モルフのレイヤーを変更する	12

3 与条件を設定する

3-1 与条件設定のワークフロー	14
3-2 方位を設定する	15
3-2-1 与条件設定サブパレットを開く	15
3-2-2 方位を設定する	15
3-3 境界線条件を設定する	17
3-3-1 東側道路を設定する	17
3-3-2 北側道路を設定する	19
3-3-3 隅切を設定する	21
3-3-4 境界線条件を 3D で確認する	22
3-4 交差点形状を設定する	23
3-5 用途地域を設定する	25
3-6 高度地区を設定する	26
3-7 日影規制を設定する	27
3-8 緯度・経度を設定する	28
3-9 日照条件を確認する	29

4 斜線・逆日影計算をする

4-1 斜線・逆日影計算のワークフロー	32
4-2 斜線・逆日影計算をする	33
4-2-1 斜線・逆日影計算サブパレットを開く	33

4-2-2 斜線計算をする	33
4-2-3 逆日影計算をする	37
4-2-4 斜線・逆日影計算をする	40
4-3 建物高チェックをする	42
5 日影計算をする	
5-1 日影計算のワークフロー	46
5-2 日影計算サブパレットを開く	47
5-2-1 日影計算サブパレットを開く	47
5-3 規制ラインチェックを実行する	48
5-3-1 規制ラインチェックを実行する	48
5-4 時刻日影計算を実行する	50
5-5 等時間日影計算を実行する	52
5-5-1 等時間日影計算を実行する	52
5-6 日影時間を確認する	56
5-6-1 日影特定点を登録する	56
5-6-2 日影特定点の日影時間を確認する	57
5-7 日照定規を確認する	58
5-8 半天空図を確認する	60
5-9 表を出力する	61
6 天空率計算をする	
6-1 天空率計算のワークフロー	64
6-2 天空率計算サブパレットを開く	65
6-2-1 天空率計算サブパレットを開く	65
6-3 天空率算定領域を生成する	67
6-3-1 天空率算定領域を簡易設定する	67
6-4 天空率算定領域を確認する	69
6-5 天空率計算を実行する	74
6-5-1 天空率計算を実行する	74
6-5-2 天空率計算結果を確認する	76
6-6 位置確認指定点を確認する	80
6-7 天空率算定結果を出力する	84
6-7-1 選択した天空率算定領域を出力する	84
6-7-2 全ての天空率算定領域を出力する	89

1 はじめに

1-1 ご利用にあたって

1-1-1 はじめに

ADS-BT for ARCHICAD トレーニングマニュアル(以下、本マニュアルといいます)の目的は、モデルプランの入力を通して、ADS-BT for ARCHICAD(以下、本システムといいます)の操作の全体の流れをつかむことです。モデルプランを用いて、与条件設定、斜線・逆日影計算、日影計算、天空率計算までの一連の操作を行います。

1-1-2 本マニュアルについて

- 本マニュアルは Windows 版/Mac 版共通です。
- 本マニュアルの画面廻りの画像は、Windows 版での表示です。
- 本マニュアルは、製品版を対象としています。

1-1-3 基本操作

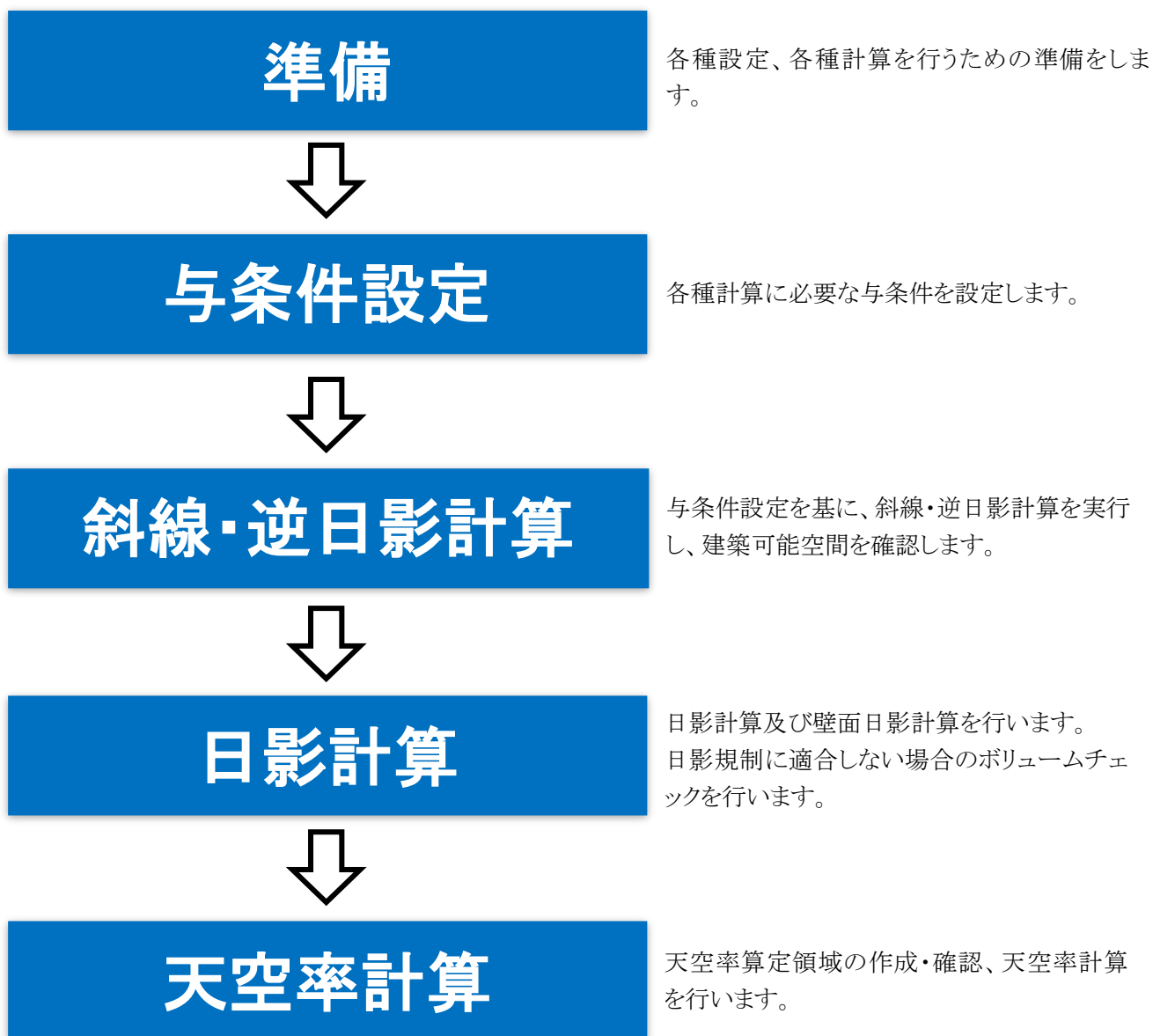
- 本マニュアルの操作は Windows 及び Archicad の標準的な操作方法に準拠しています。
- Windows 及び Archicad の基本的な操作については、専用のマニュアル及び市販の書籍をご参照ください。

1-1-4 本マニュアルで用いた略語

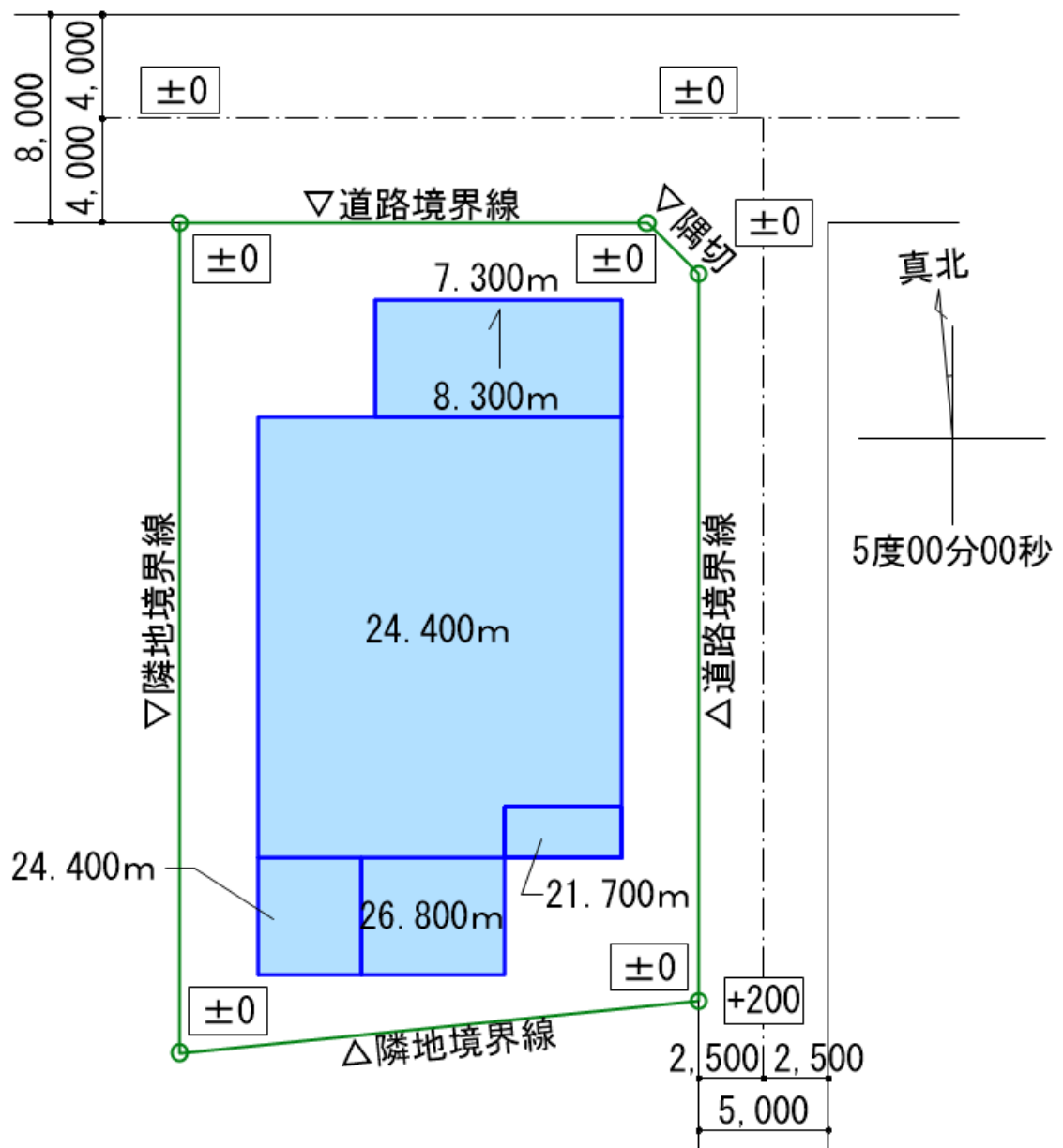
略語	正式名称
法	建築基準法
令	建築基準法施行令
ダイアログ	ダイアログボックス

1-2 本マニュアルのワークフロー

○ ワークフローに沿ってモデルプランの入力、各種計算を行います。



1-3 モデルプラン概要

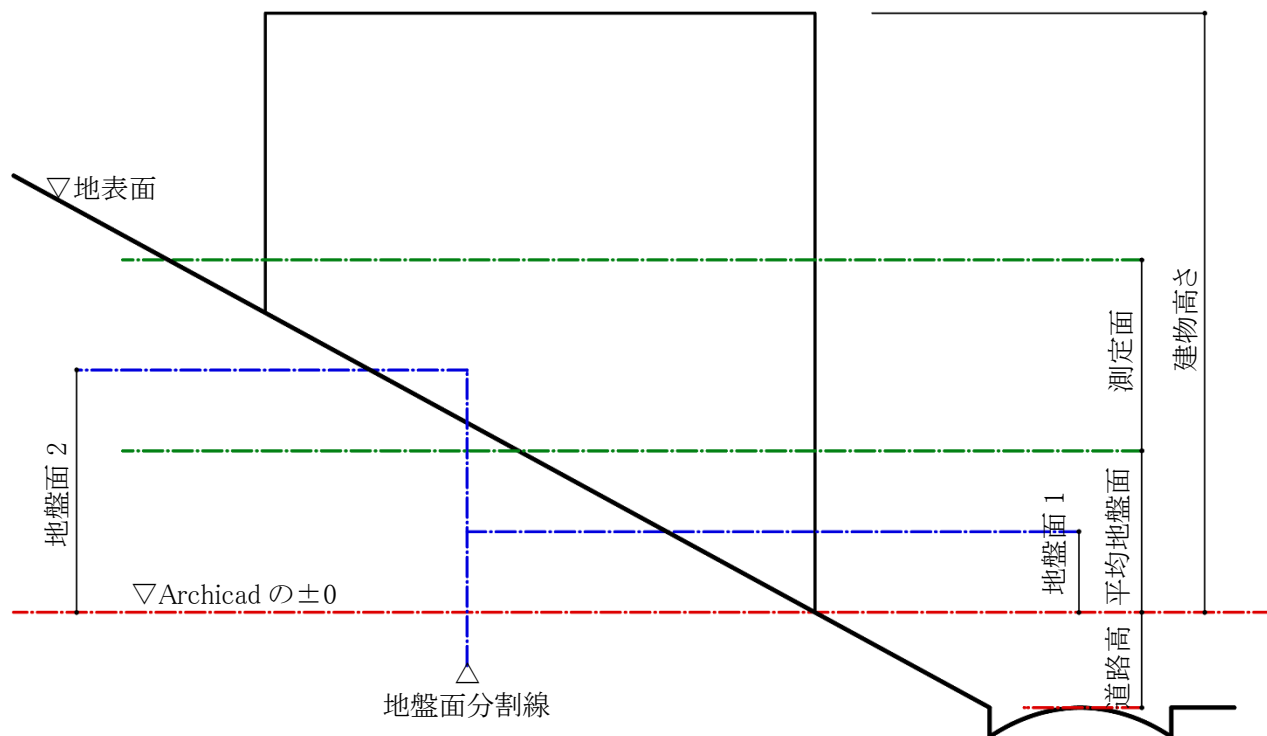


■敷地概要	
計画地	東京都内
用途地域	準住居地域
建蔽率/容積率	70%(緩和後) / 400%
地盤面高	0.000m
高度地区	東京都第3種高度地区
日影規制	5時間/3時間/4m
平均地盤面高	0.000m

1-4 本システムの運用について

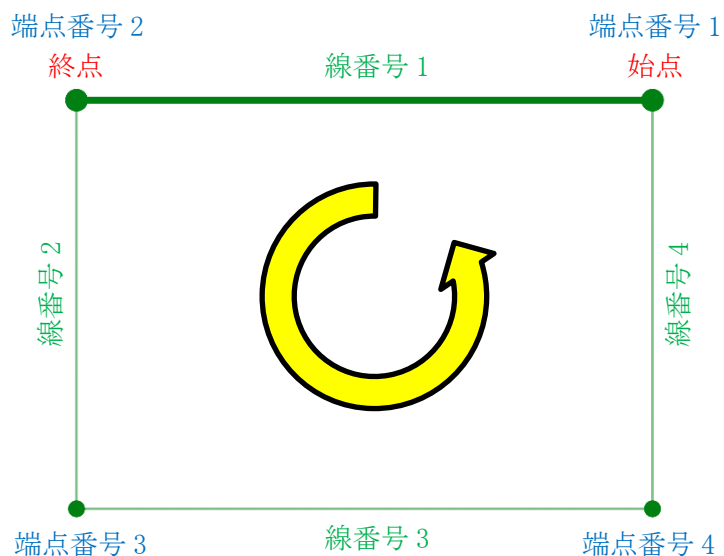
1-4-1 本システムの高さについて

- 本システムの高さの基準は、Archicad 上の ± 0 です。



1-4-2 始点と終点

- 本システムの線分は平面図上の始点と終点によって定義されます。
- 閉じた図形において、図形内側から見て右側が始点、左側が終点です。
- 辺や端点の番号は、図形内側から見て反時計回りに定義されます。



1-5 メインパレットについて

- 本システムのメニューはメインパレットから選択します。
- 本マニュアルでは「入力ガイド」はオフにします。

・入力ガイドオフ



・入力ガイドオン



番号	項目名	概要
①	インポート	ADS データ (.adsf、.cw3) をインポートします
②	エクスポート	ADS データ (.adsf) をエクスポートします
③	敷地マネージャー	敷地マネージャーで登録されている情報を取り込みます
④	天空率表示設定	表示する斜線制限及び領域の切替えを行います 天空率表示設定サブパレットが開きます
⑤	計算建物形状	本システムにおける計算建物形状を表示します 計算建物形状サブパレットが開きます
⑥	環境設定	本システムの表示環境や計算環境等、全体的な環境を設定します 環境設定サブパレットが開きます
⑦	プロパティ	本システムに関するレイヤーの設定や与条件設定の確認を行います プロパティサブパレットが開きます
⑧	与条件設定	与条件設定を行います 選択すると平面図がフロア番号 1 に切り替わります 入力ガイドがオフの場合、与条件設定サブパレットが開きます 入力ガイドがオンの場合、与条件設定入力ガイドダイアログが開きます
⑨	斜線・逆日影計算	斜線・逆日影計算を行います 斜線・逆日影計算サブパレットが開きます
⑩	天空率空間計算	天空率にクリアするボリューム（天空率空間）計算を行います。 天空率空間計算サブパレットが開きます
⑪	日影計算	日影計算を行います 日影計算サブパレットが開きます
⑫	天空率計算	天空率計算を行います 天空率計算サブパレットが開きます
⑬	入力ガイド	入力ガイドのオンとオフを切り替えます

2 準備をする

2-1 準備のワークフロー

○ 本マニュアルでの準備のワークフローです。

本システムの起動

本システムを起動します。



データインポート

モデルプランのデータをインポートします。



計算対象要素設定

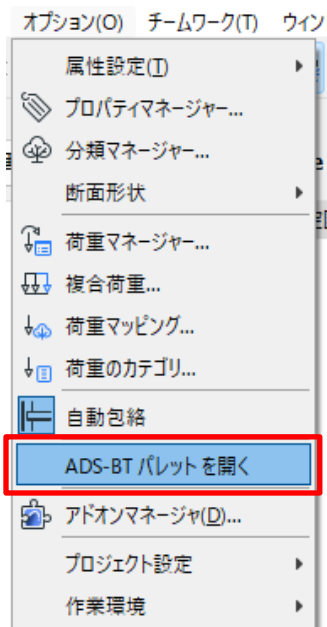
計算対象要素のレイヤーを設定します。

2-2 本システムを起動する

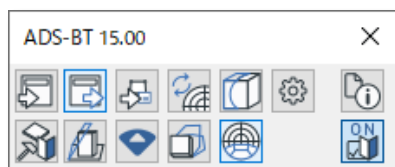
○ 本システムは Archicad メニューから起動します。

[操作手順]

1) Archicad オプションメニューより、「ADS-BT パレットを開く」を選択します。



2) 本システムのメインパレットが開きます。

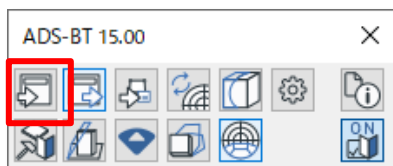


2-3 ADS データをインポートする

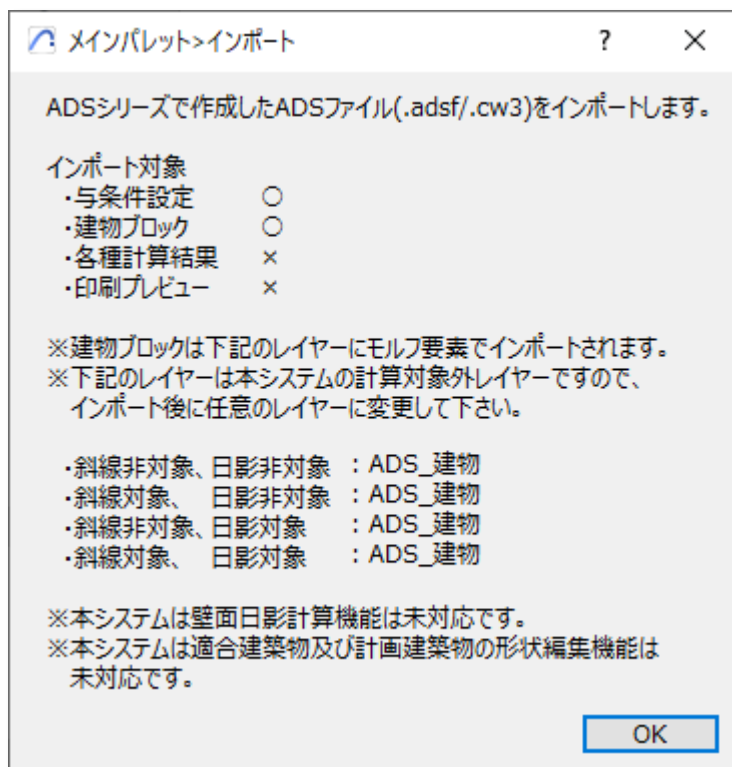
- 本マニュアルでは、インポートした ADS データ(.adsf)の本敷地形状及び建物形状を元に、与条件設定や各種計算を行います。
- ADS データをインポートすると、本敷地が自動的に登録されます。
- 本システムにおける高さ制限解析に必要となる敷地形状のことを本敷地と呼びます。
- ADS データをインポートしない場合の本敷地登録についてはリファレンスマニュアルを参照して下さい。

[操作手順]

- 1) メインパレットより、「インポート」を選択します。

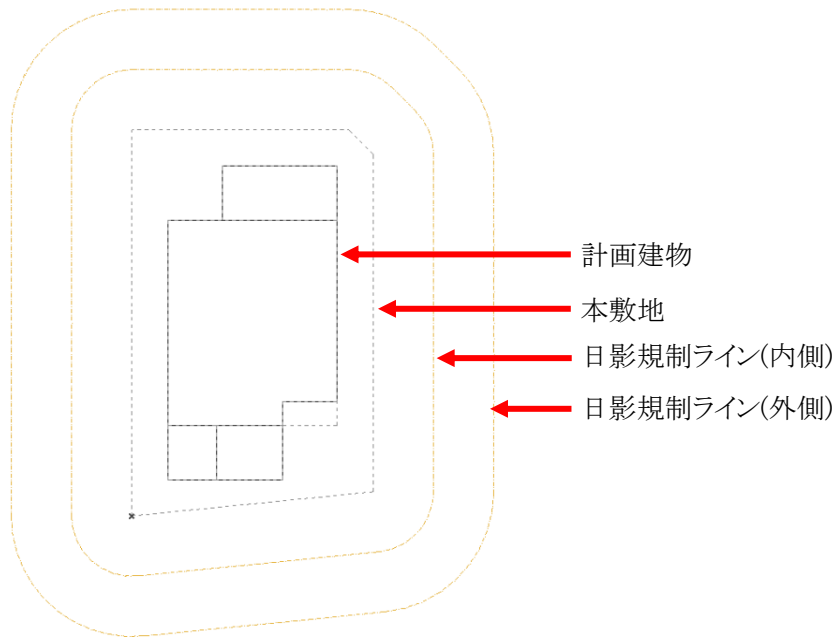


- 2) 「インポート」ダイアログが開きます。

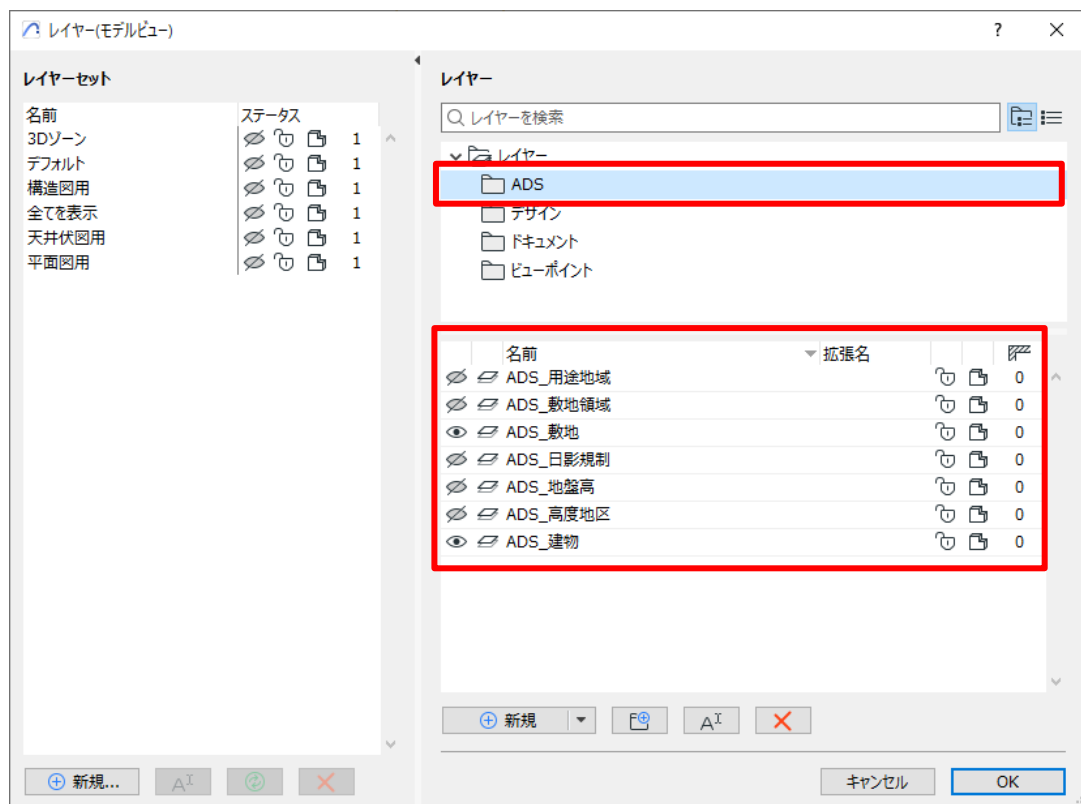


- 3) 「OK」を選択します。
- 4) 「ファイルを開く」ダイアログが開きます。
- 5) 「トレーニングマニュアル用データ.adsf」を選択します。
- 6) 「開く」を選択します。

7) 本システムに関連するレイヤーフォルダ及びレイヤーが作成され、ADS データがインポートされます。



※インポート時に作成されるレイヤーフォルダ及びレイヤーは下図の通りです。



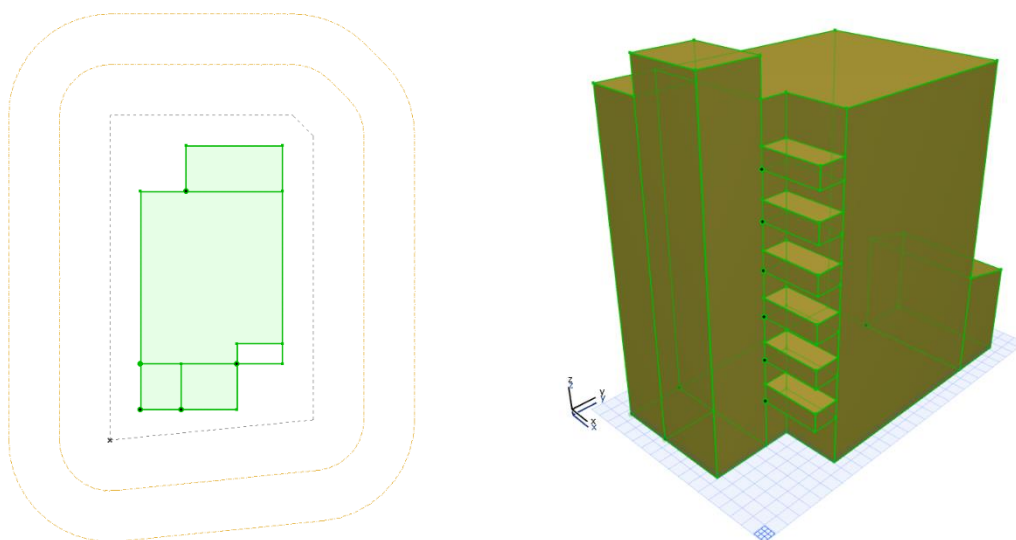
2-4 計算対象要素を設定する

- インポートした計画建物は、「ADS_建物」レイヤーにモルフで作成されます。
- 本システムが作成するレイヤー（「ADS_」ではじまるレイヤー）の要素は計算対象外になります。
- インポートした計画建物モルフのレイヤーを変更し、計算対象要素に設定します。

2-4-1 計画建物モルフのレイヤーを変更する

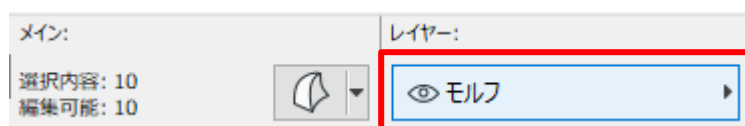
[操作手順]


- 1) 計算対象に設定するインポートしたモルフを選択します。

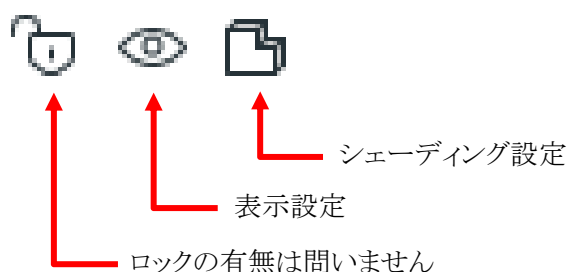


- 2) レイヤーを、「ADS_建物」以外の計算対象レイヤーに変更します。

※本マニュアルでは「モルフ」に変更しています。



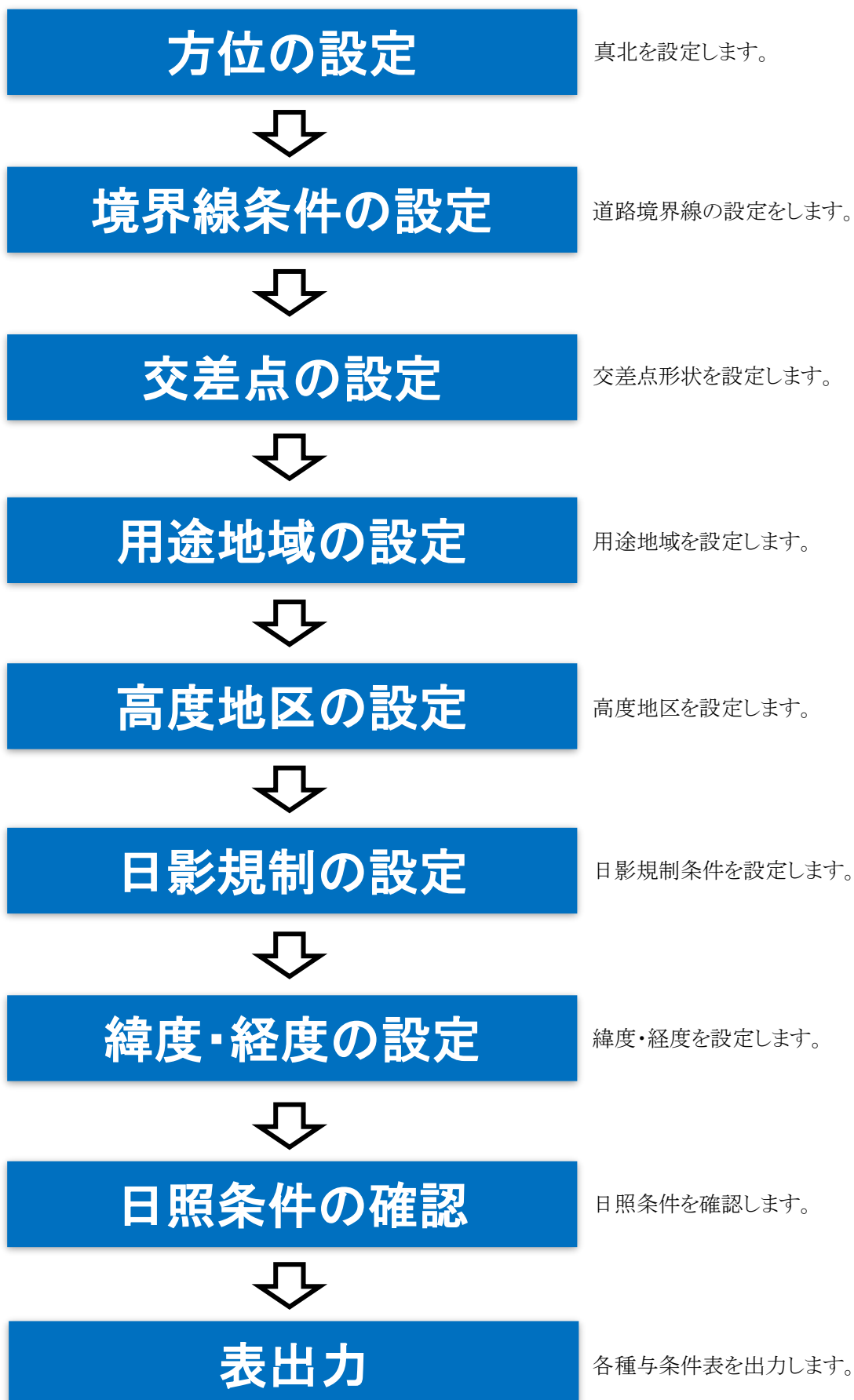
 平面図で、シェーディング表示になっている「ADS_建物」以外のレイヤーが計算対象レイヤーです。



3 与条件を設定する

3-1 与条件設定のワークフロー

○ 本マニュアルでの与条件設定のワークフローです。



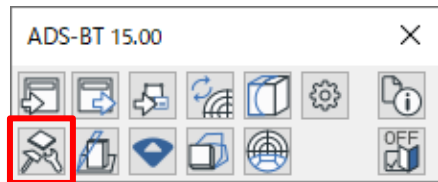
3-2 方位を設定する

○ 数値入力で真北を設定します。

3-2-1 与条件設定サブパレットを開く

[操作手順]

1) メインパレットより、「与条件設定」を選択します。



2) 与条件設定サブパレットが開きます。



3-2-2 方位を設定する

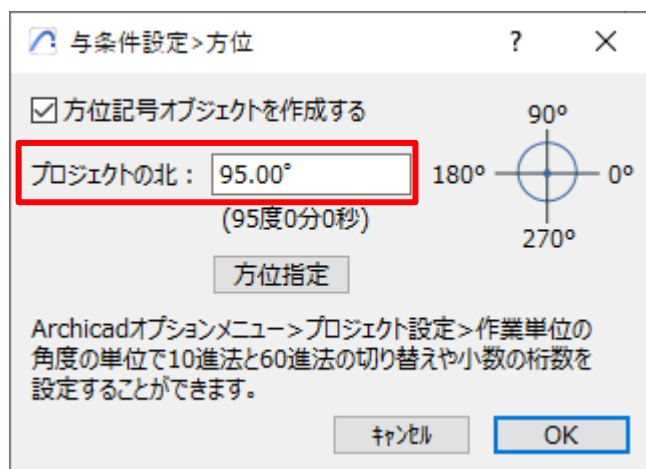
[操作手順]

1) 与条件サブパレットより、「方位」を選択します。



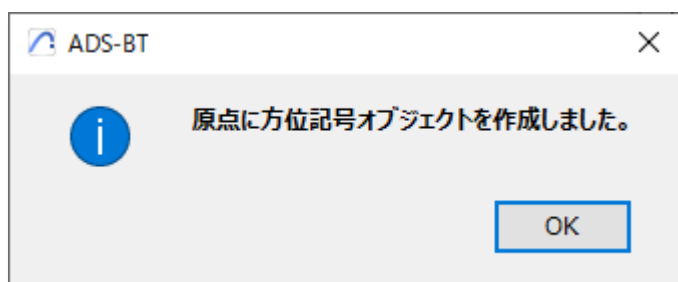
2) 「方位」ダイアログが開きます。

3) 「プロジェクトの北」を「95.00°」に設定します。

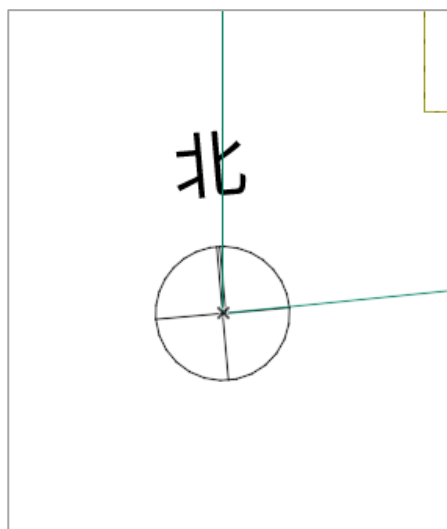


💡 ARCHICAD の「プロジェクトの北」と連動しています
平面図上の真上が「90°」です。

- 4) 「OK」を選択します。
- 5) 「方位記号オブジェクトを作成する」にチェックが入っている場合、確認ダイアログが表示されます。



- 6) 「OK」を選択すると、原点に方位記号オブジェクトが作成されます。
※方位記号オブジェクトは Archicad の標準ライブラリの「方位記号」オブジェクトで固定です。
※「方位記号」オブジェクトがロードされていない場合、方位記号オブジェクトは作成されません。



3-3 境界線条件を設定する

- 道路境界線等の条件の設定を行います。
- デフォルトは全ての境界線の種類が隣地境界線です。

3-3-1 東側道路を設定する

[操作手順]

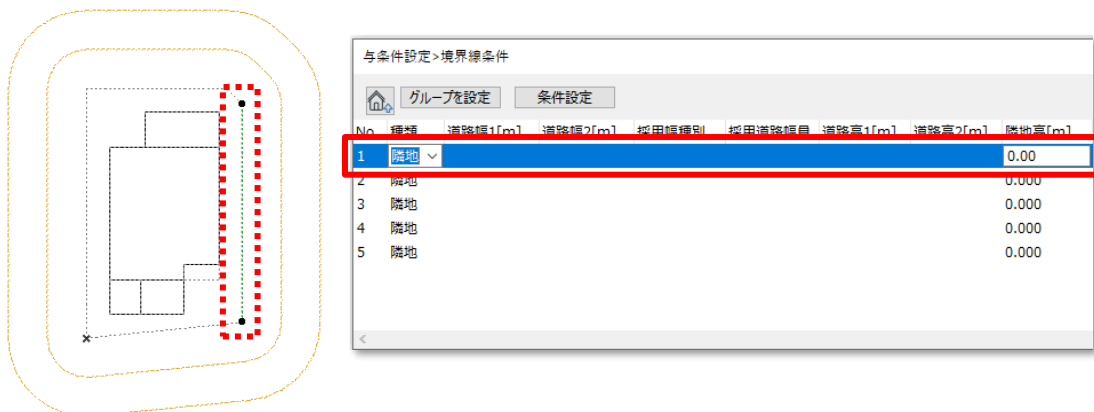
- 1) 与条件設定サブパレットより、「境界線条件」を選択します。



- 2) 「境界線条件」ダイアログが開きます。

No	種類	道路幅1[m]	道路幅2[m]	採用幅種別	採用道路幅員	道路高1[m]	道路高2[m]	隣地高[m]	特定道路[m]	緩和幅1[m]	緩和幅2[m]	グループ
1	隣地							0.000	0.000	0.000	0.000	グループ無
2	隣地							0.000	0.000	0.000	0.000	グループ無
3	隣地							0.000	0.000	0.000	0.000	グループ無
4	隣地							0.000	0.000	0.000	0.000	グループ無
5	隣地							0.000	0.000	0.000	0.000	グループ無

3) 「境界線条件」ダイアログより、「No1」の境界線を選択します。



※平面図からは選択できません。

4) 「種類」プルダウンメニューより、「道路」を選択します。

5) 「道路幅 1」及び「道路幅 2」を「5.000」に設定します。

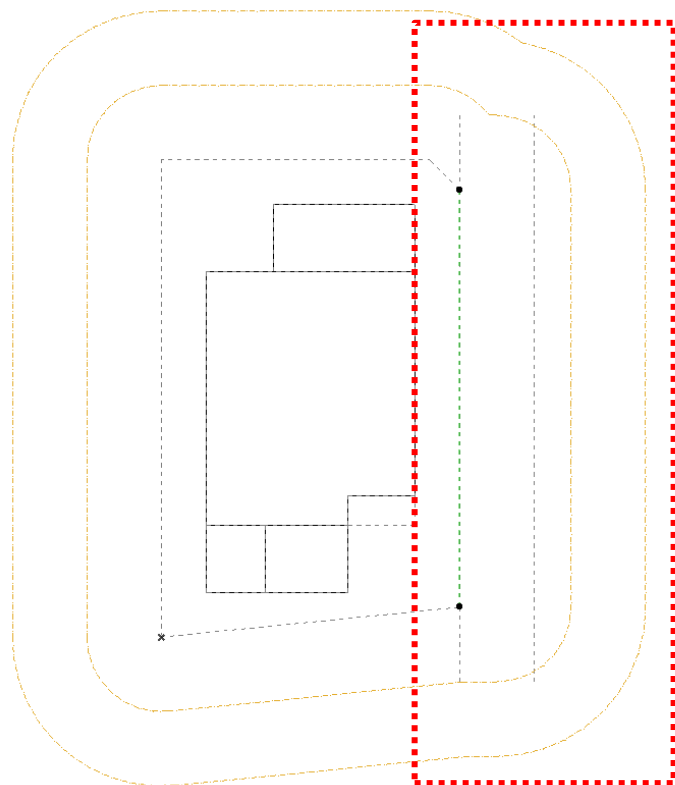
6) 「道路高 1」を「0.200」に設定します。

The image shows the same dialog box as before, but with the following values entered for No. 1:

No	種類	道路幅1[m]	道路幅2[m]	採用幅種別	採用道路幅員	道路高1[m]	道路高2[m]	隣地高[m]
1	道路	5.00	5.00	最小幅員	5.000	0.00	0.20	0.00
2	隣地							0.000
3	隣地							0.000
4	隣地							0.000
5	隣地							0.000

項目	概要
種類	敷地境界線の種類を選択します
道路幅 1	境界線の始点側の前面道路の幅員を入力します
道路幅 2	境界線の終点側の前面道路の幅員を入力します
採用幅種別	道路幅員の採用幅の種別を選択します
採用道路幅員	採用道路幅員を設定します
道路高 1	敷地境界線の始点側の前面道路の中心の高さを入力します
道路高 2	敷地境界線の終点側の前面道路の中心の高さを入力します
隣地高	隣地高さを入力します
特定道路	敷地に対して容積緩和を受ける特定道路がある場合に、特定道路までの接道距離を入力します（法 52 条第 9 項第 1 号）
緩和幅 1	道路高さ制限及び隣地高さ制限の緩和対象となる公園などの実際の幅員を入力します（令 134 条第 1 項、令 135 条の 3 第 1 項第 1 号）
緩和幅 2	北側高さ制限及び高度斜線制限の緩和対象となる水面などの実際の幅員を入力します（令 135 条の 4 第 1 項第 1 号）

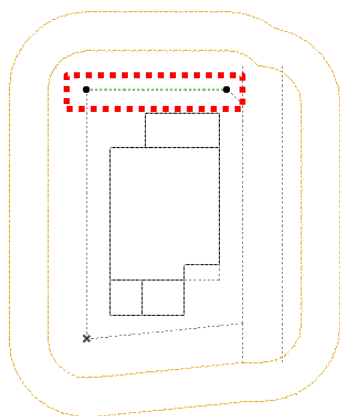
7) 東側道路の幅員が設定され、日影規制ラインの緩和が反映されます。



3-3-2 北側道路を設定する

[操作手順]

1) 「境界線条件」ダイアログより、「No3」の境界線を選択します。



与条件設定>境界線条件								
グループを設定 条件設定								
No	種類	道路幅1[m]	道路幅2[m]	採用幅種別	採用道路幅員	道路高1[m]	道路高2[m]	隣地高[m]
1	道路	5.000	5.000	最小幅員	5.000	0.000	0.200	0.000
2	隣地							0.000
3	隣地							0.00
4	隣地							0.000
5	隣地							0.000

2) 「種類」プルダウンメニューより、「道路」を選択します。

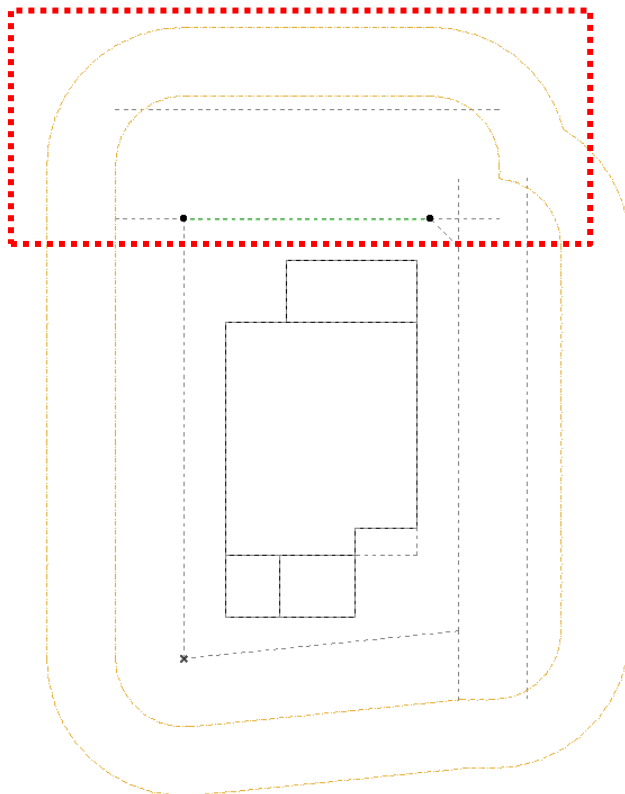
3) 「道路幅 1」及び「道路幅 2」を「8.000」に設定します。

与条件設定>境界線条件

グループを設定 条件設定

No	種類	道路幅1[m]	道路幅2[m]	採用幅種別	採用道路幅員	道路高1[m]	道路高2[m]	隣地高[m]
1	道路	5.000	5.000	最小幅員	5.000	0.000	0.200	0.000
2	隣地							0.000
3	道路	8.00	8.00	最小幅員	8.000	0.00	0.00	0.00
4	隣地							0.000
5	隣地							0.000

4) 北側道路の幅員が設定され、日影規制ラインの緩和が反映されます。



3-3-3 隅切を設定する

[操作手順]

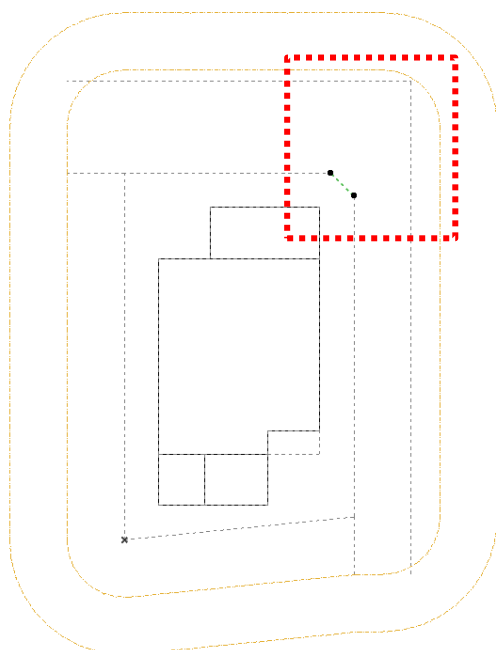
1) 「境界線条件」ダイアログより、「No2」の境界線を選択します。



2) 「種類」プルダウンメニューより、「隅切」を選択します。



3) 隅切が適用され、東側道路と北側道路が交差点になります。



- 4) 「境界線条件」ダイアログより、「サブパレットに戻る」を選択します。

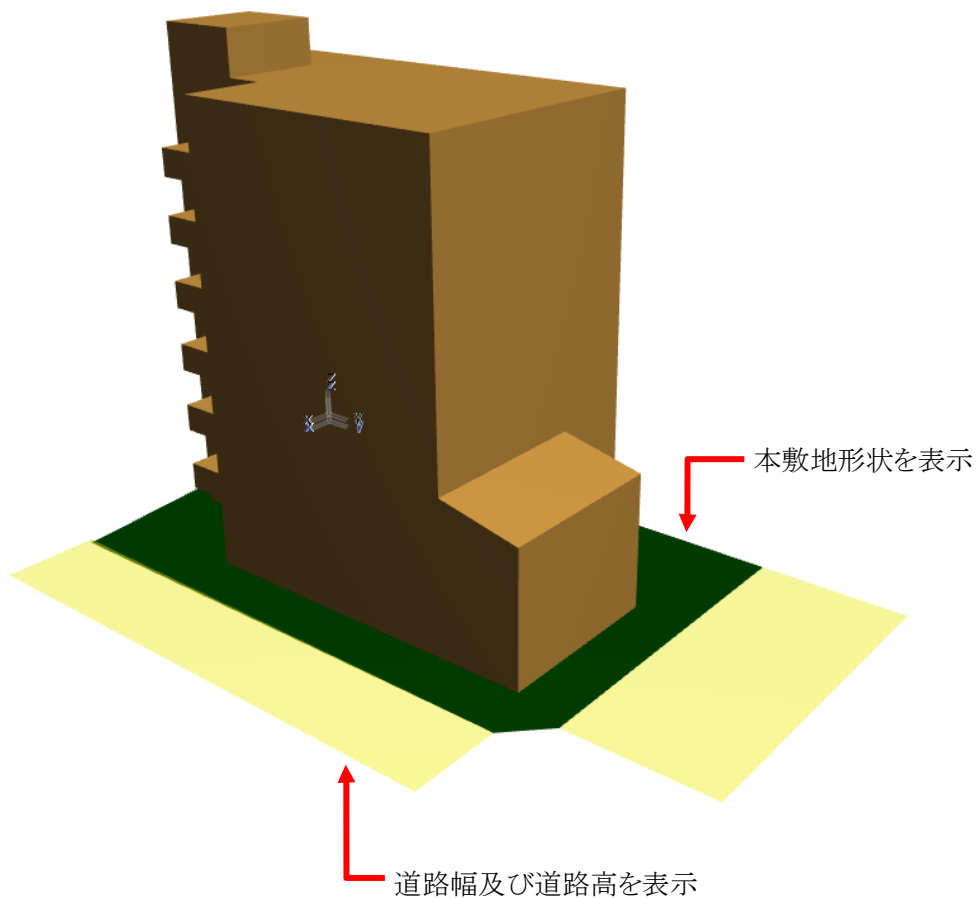
与条件設定>境界線条件

No	種類	道路幅1[m]	道路幅2[m]	採用幅種別	採用道路幅員	道路高1[m]	道路高2[m]	隣地高[m]
1	道路	5.000	5.000	最小幅員	5.000	0.000	0.200	0.000
2	隅切							
3	道路	8.000	8.000	最小幅員	8.000	0.000	0.000	0.000
4	隣地							0.000
5	隣地							0.000

3-3-4 境界線条件を 3D で確認する

[操作手順]

- 1) 3D ウィンドウを表示します。
- 2) 「ADS_敷地領域」レイヤーを表示します。
- 3) 本敷地形状及び境界線条件がモルフで表示されます。



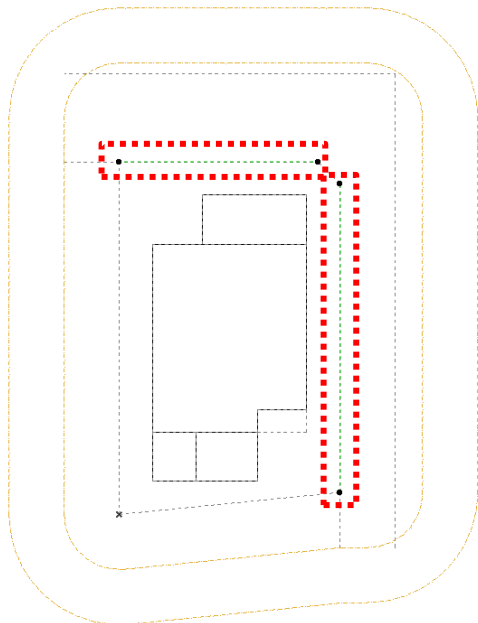
※「隣地高」を設定した場合、赤色で隣地高が表示されます。

3-4 交差点形状を設定する

- 境界線条件で設定した道路の、交差点形状の設定を行います。
- 敷地形状によっては、道路斜線の回り込みに影響を与えます。

[操作手順]

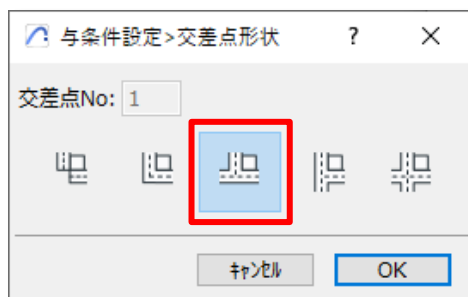
- 1) 平面図より、東側道路境界線と北側境界線を選択します。



- 2) 与条件設定サブパレットより、「交差点形状」を選択します。



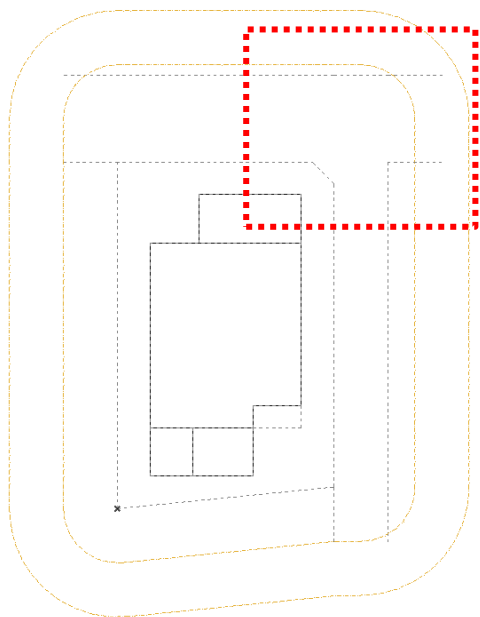
- 3) 「交差点状況」ダイアログが開きます。
- 4) 下図の形状を選択します。



※本システムにおける交差点形状は、道路の延長方向または行き止まりの設定であり、実際の交差点形状とは異なる場合があります。

- 5) 「OK」を選択します。

6) 交差点状況が反映され、東側道路と北側道路が T 字路になります。



3-5 用途地域を設定する

○ 用途地域、建蔽率、容積率等を設定します。

[操作手順]

1) 与条件設定サブパレットより、「領域条件」を選択します。



2) 「領域条件」ダイアログが開きます。

3) 「用途地域」タブが選択されていることを確認します。

4) 「用途地域選択」プルダウンメニューより、「準住居地域」を選択します。

5) 「建蔽率」を「70」%に設定します。

6) 「容積率」を「400」%に設定します。



建蔽率は、角地等の緩和が適用された後の数値を入力します。

容積率は、低減や緩和が適用される前の数値を入力します。

容積率低減係数/道路斜線勾配/隣地斜線勾配/隣地斜線高さは、選択した用途地域名に応じて数値が自動的に割り当てられます。異なる場合は、直接数値を入力します。

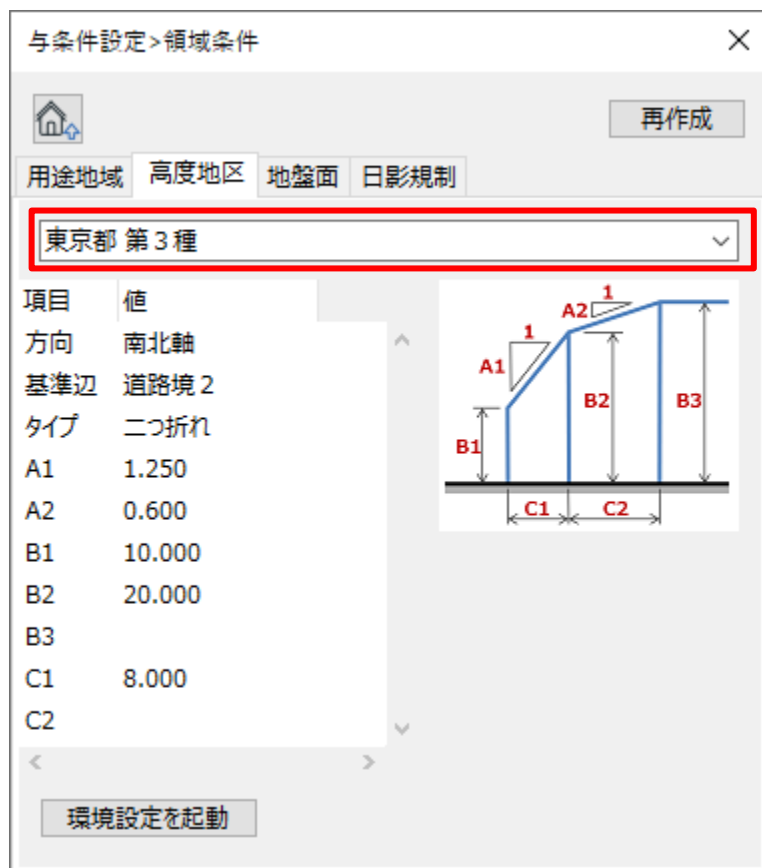
7) 「領域条件」ダイアログは開いたままにしておきます。


3-6 高度地区を設定する


○ 都市計画上の高度地区を設定します。

[操作手順]

- 1) 「領域条件」ダイアログより、「高度地区」タブを選択します。
- 2) 「高度地区選択」プルダウンメニューより、「東京都 第3種」を選択します。



 「高度地区選択」プルダウンメニューに該当する高度地区名が無い場合、「環境設定を起動」を選択し、環境設定プログラムで高度地区を登録します。

 Windows 版で「高度地区選択」プルダウンメニューに「無指定」以外が表示されない場合は、「環境設定プログラム」がインストールされていません。データを保存し、本システムを終了してから「環境設定プログラム」をインストールして下さい。

- 3) 「領域条件」ダイアログは開いたままにしておきます。

3-7 日影規制を設定する

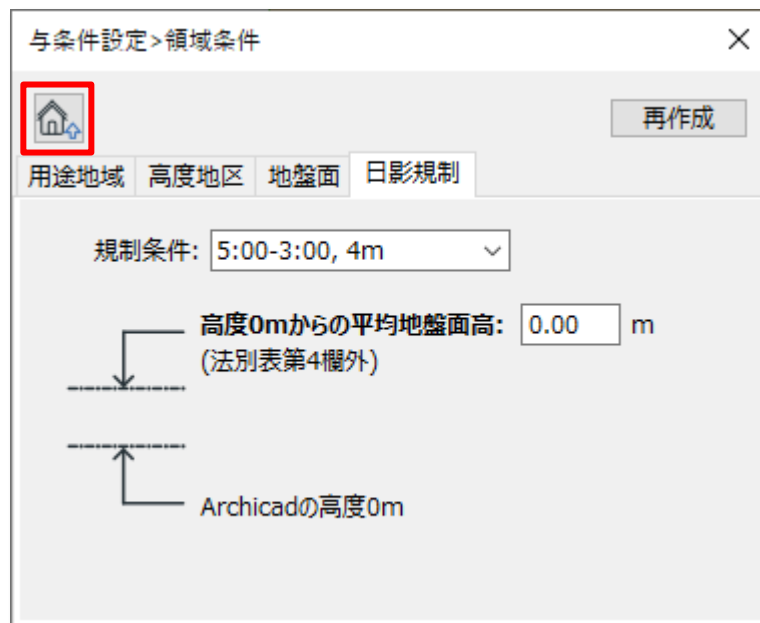
○ 日影規制条件を設定します。

[操作手順]

- 1) 「領域条件」ダイアログより、「日影規制」タブを選択します。
- 2) 「日影規制条件選択」プルダウンメニューより、「5 時間 3 時間-4m」を選択します。



- 3) 「サブパレットに戻る」を選択します。



3-8 緯度・経度を設定する

○ 緯度・経度を設定します。

[操作手順]

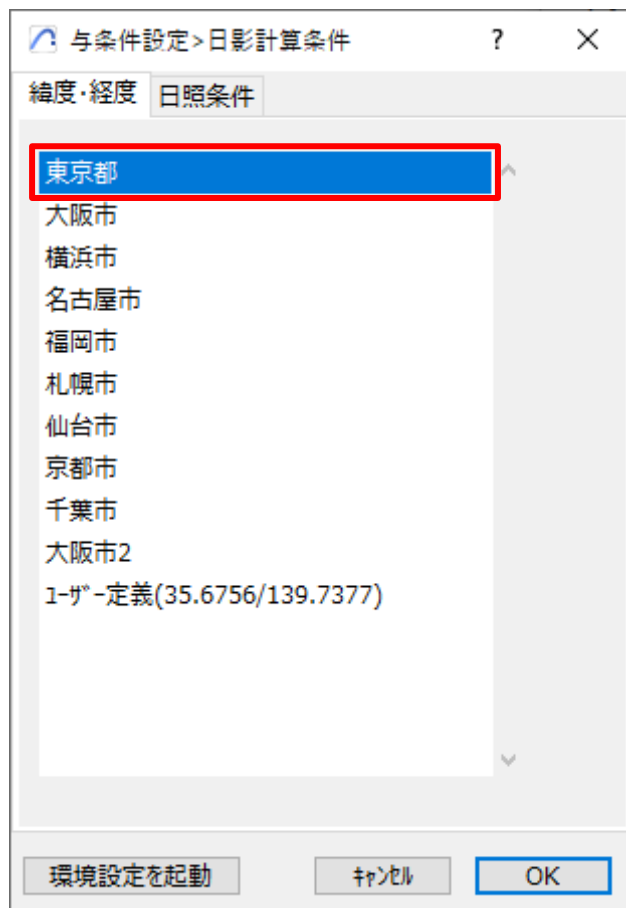
1) 与条件サブパレットより、「日影計算条件」を選択します。



2) 「日影計算条件」ダイアログが開きます。

3) 「緯度・経度」タブが選択していることを確認します。

4) 「都市リスト」より、「東京都」を選択します。



💡 「都市リスト」に該当する都市が無い場合、「環境設定を起動」を選択し、環境設定プログラムで都市を登録します。

❗ Windows 版で「都市リスト」に都市名が表示されない場合は、「環境設定プログラム」がインストールされていません。データを保存し、本システムを終了してから「環境設定プログラム」をインストールして下さい。

5) 「日影計算条件」ダイアログは開いたままにしておきます。

3-9 日照条件を確認する

- 日影計算・逆日影計算に適用される日照条件を設定します。
- 建築基準法で求められる日影計算を行う場合、北海道を除いて設定は不要です。

[操作手順]

- 1) 「日影計算条件」ダイアログより、「日照条件」タブを選択します。
- 2) 日照条件の設定を確認します。

与条件設定 > 日影計算条件

緯度・経度 日照条件

測定時間

開始 8 時 0 分

終了 16 時 0 分

太陽赤緯

冬至[12月22日頃]

-23 度 27 分 0 秒

時刻法

☒ 真太陽時 ☐ 中央標準時

均時差: 0 分 0 秒

測定ライン

規制1(内側) 5.00 m

規制2(外側) 10.00 m

環境設定を起動 キャンセル OK

項目	概要	
測定時間	日影計算の「開始時間」及び「終了時間」を設定します	
太陽赤緯	節季	24 節季の日付と太陽赤緯が登録されています
	度・分・秒	節季で「ユーザー定義」を選択した場合に設定します
時刻法	真太陽時	太陽が 12 時に真南にあるとする時刻法です 確認申請を行う場合に選択します
	中央標準時	ある時刻における実際の太陽の位置を算定する時刻法です 近隣説明を行う場合等に選択します
	均時差	「中央標準時」を選択した場合に設定可能です 理科年表等で調べた上で、値を入力します
測定ライン	日影規制ラインを設定します	

- 3) 「OK」を選択します。

- 4) 与条件設定サブパレットより、「メインパレットに戻る」を選択します。



4 斜線・逆日影計算をする

4-1 斜線・逆日影計算のワークフロー

○ 本マニュアルでの斜線・逆日影計算のワークフローです。

斜線・逆日影計算

異なる計算タイプで斜線・逆日影計算を実行します。



建物高チェック

建物が各種斜線制限に適合しているかチェックします。

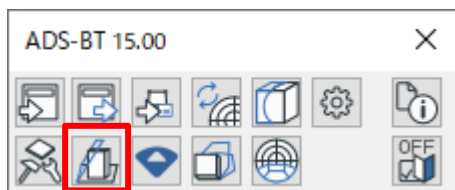
4-2 斜線・逆日影計算をする

- 斜線・逆日影計算は 3 つの計算タイプがあります。
- 斜線計算と逆日影計算を組み合わせて計算を実行することができます。
- 複数の計算条件 (CASE) を計算し、異なるレイヤーに保存することが可能です。

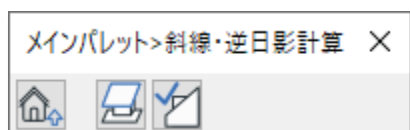
4-2-1 斜線・逆日影計算サブパレットを開く

[操作手順]

- 1) メインパレットより、「斜線・逆日影計算」を選択します。



- 2) 斜線・逆日影計算サブパレットが開きます。



4-2-2 斜線計算をする

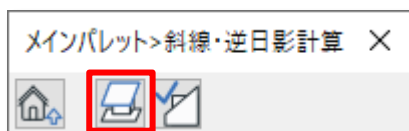
- 斜線計算を実行するための条件を設定します。
- 計算結果が斜線メッシュで表示されます。

[操作手順]

- 1) 平面図ウインドウを開きます。

! 3D ウインドウでの計算も可能ですが、計算結果のレイヤーの表示が適切に切り替わらない場合があるため、平面図ウインドウでの計算実行を推奨しています。

- 2) 斜線・逆日影計算サブパレットより、「斜線・逆日影計算」を選択します。



- 3) 「斜線・逆日影計算」ダイアログが開きます。

- 4) 「計算 CASE 選択」プルダウンメニューより、「CASE 1」が選択されていることを確認します。

- 5) 「計算ピッチ」を「0.50」mに設定します。



敷地の大きさや、求める計算の精度によってメッシュのピッチを設定します。
メッシュのピッチが細かいほど精度が上がりますが、計算時間もかかります。
メッシュのピッチの設定に応じて、メッシュサイズが変わります。

- 6) 「計算タイプ」より、「斜線計算」にチェックを入れます。

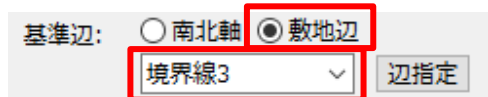


各計算タイプの概要は下記の通りです。

計算タイプ	概要
斜線	各種斜線計算のみ実行します
逆日影計算（低層型）	低層タイプの逆日影計算のみ実行します
逆日影計算（高層型）	高層タイプの逆日影計算のみ実行します

「斜線」と、「逆日影計算（低層型）」または「逆日影計算（高層型）」は重複してチェックを入れることができます。

- 7) 「基準辺」より、「敷地辺」にチェックを入れ、「境界線 3」を選択します。



メッシュの基準方向となる辺を設定します。

最大幅員の道路境界線を選択するとアイソメ図でメッシュが見易くなります。

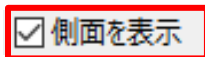
- 8) 「建物後退」プルダウンメニューより、「後退無」を選択します。



「建物後退」または「エリア後退」を選択すると、後退距離を考慮して斜線・逆日影計算を実行することができます。

操作方法是リファレンスマニュアルを参照して下さい。

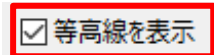
- 9) 「側面を表示」にチェックを入れます。



メッシュの側面を表示する設定にします。

側面を表示すると斜線メッシュの形状が見易くなります。

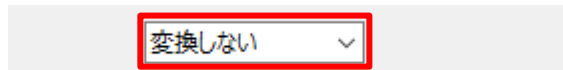
- 10) 「等高線を表示」にチェックを入れます。



斜線・逆日影計算結果の等高線を表示します。

ARCHICAD のフロア設定に応じた等高線を各フロアに表示します。

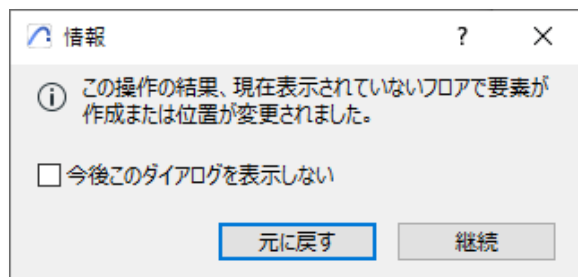
- 11) 「変換選択」プルダウンメニューより、「変換しない」を選択します。



「スラブ変換」または「ゾーン変換」を選択すると、斜線・逆日影計算結果を基にした建築可能空間をスラブまたはゾーンでフロア単位に作成します。

- 12) 「計算」を選択します。

- 13) 確認ダイアログが開きます。



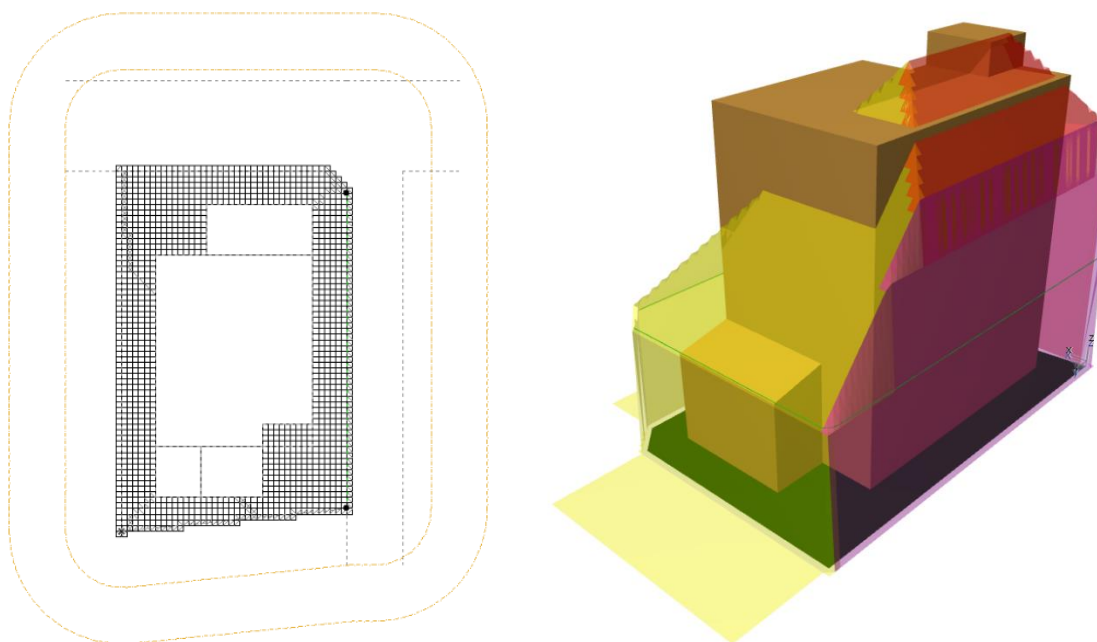
※Archicad の設定によっては、確認ダイアログは開きません。

※本マニュアルの以降の操作ではこの確認ダイアログの操作は省略します。

- 14) 「継続」を選択します。

15) 斜線計算が実行され、斜線メッシュと等高線オブジェクトが作成されます。

※本マニュアルでは計画建物が表示されていますが、通常は建物入力前に計算を実行します。



※3D 表示は「ADS_敷地領域」レイヤーを表示しています。



メッシュの材質の色で高さを規定している高さ制限を確認することができます。

高さ制限	デフォルト設定の材質
道路高さ制限	■ ADS_斜線_道路斜線
隣地高さ制限	■ ADS_斜線_隣地斜線
北側高さ制限	■ ADS_斜線_北側斜線
高度斜線制限	■ ADS_斜線_高度斜線
絶対高さ	■ ADS_斜線_絶対高さ
逆日影	■ ADS_斜線_逆日影
その他	■ ADS_斜線_その他



「CASE1」の斜線メッシュは、「ADS_斜線逆日影」レイヤーに保存されます。

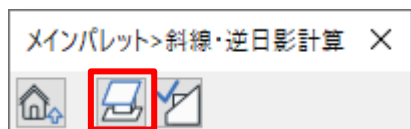


4-2-3 逆日影計算をする

- 逆日影計算を実行するための条件を設定します。
- 本マニュアルでは、「逆日影計算(低層型)」を実行します。

[操作手順]

- 1) 斜線・逆日影計算サブパレットより、「斜線・逆日影計算」を選択します。



- 2) 「斜線・逆日影計算」ダイアログが開きます。

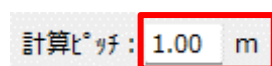
- 3) 「追加」を選択します。



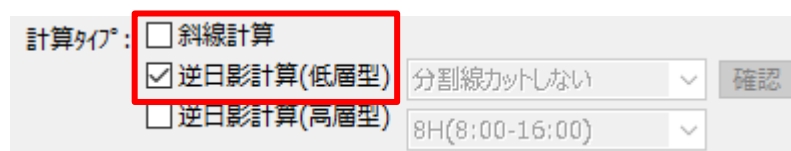
- 4) 「計算 CASE 選択」プルダウンメニューに、「CASE 2」が追加されます。




- 5) 「計算ピッチ」を「1.00」に設定します。



- 6) 「計算タイプ」より、「斜線計算」のチェックを外し、「逆日影計算(低層型)」にチェックを入れます。



 逆日影計算(低層型)と逆日影計算(高層型)の違いは下記の通りです。

逆日影計算(低層型)	計算範囲全体のボリュームを抑えて逆日影計算を実行します
逆日影計算(高層型)	計算範囲の一部に、ボリュームを集中させる高層範囲を設けて逆日影計算を実行します

- 7) 「基準辺」より、「敷地辺」にチェックを入れ、「No3」を選択します。



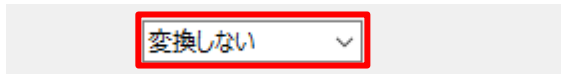
- 8) 「建物後退」プルダウンメニューより、「後退無」を選択します。



9) 「側面を表示」及び「等高線を表示」にチェックを入れます。



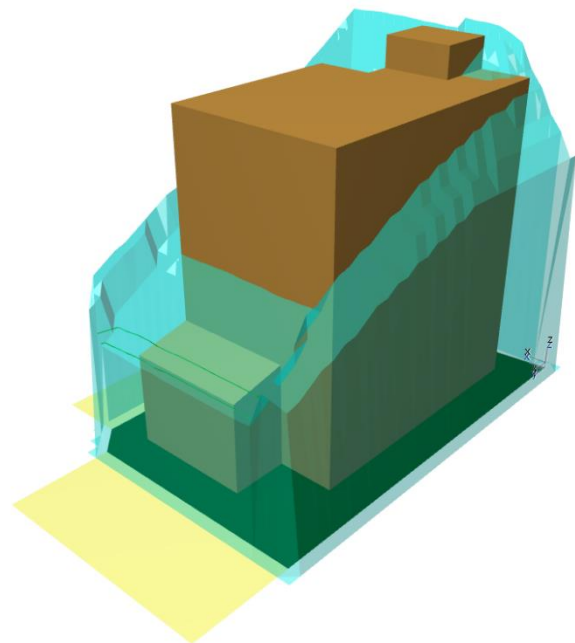
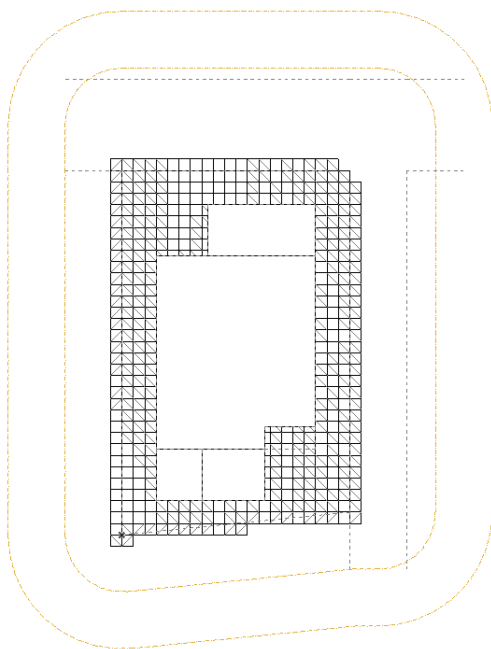
10) 「変換選択」プルダウンメニューより、「変換しない」を選択します。



11) 「計算」を選択します。

12) 逆日影計算が実行され、斜線メッシュと等高線オブジェクトが作成されます

・逆日影計算(低層型)



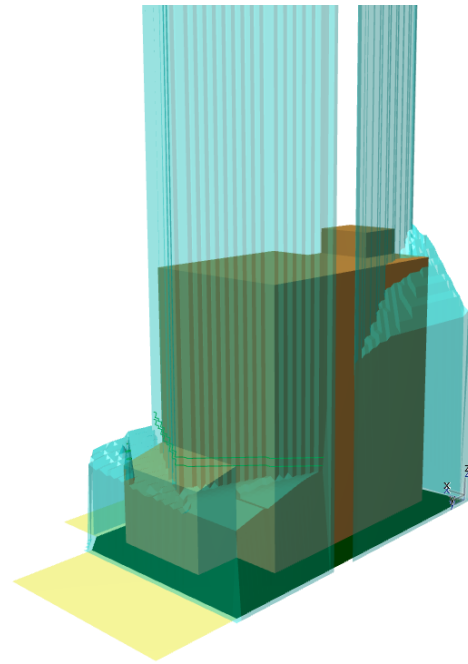
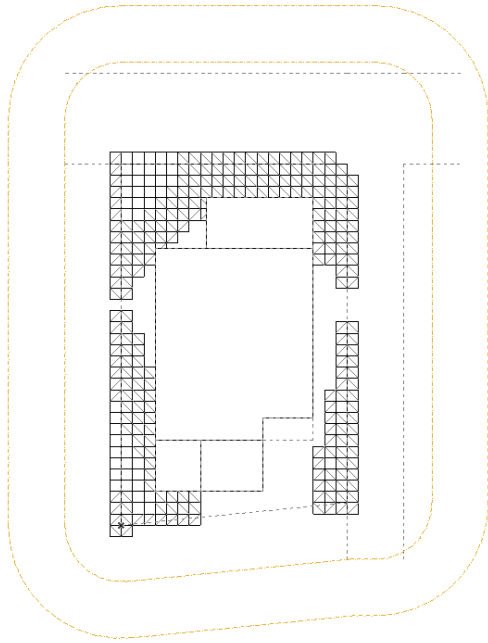
※3D 表示は「ADS_敷地領域」レイヤーを表示しています。



「CASE2」の斜線メッシュは、「ADS_斜線逆日影(2)」レイヤーに保存されます。



- ・(参考) 逆日影計算 (高層型)



※3D 表示は「ADS_敷地領域」レイヤーを表示しています。



逆日影計算 (高層型) を選択した場合、高層ポイントを移動することで高層範囲を変更することができます。

操作方法是リファレンスマニュアルを参照して下さい。

高層型基本形:

ポイント移動

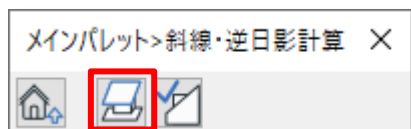
ポイント検索

4-2-4 斜線・逆日影計算をする

- 斜線・逆日影計算を実行するための条件を設定します。
- 本マニュアルでは、「斜線計算+逆日影計算(高層型)」を実行します。

[操作手順]

- 1) 斜線・逆日影計算サブパレットより、「斜線・逆日影計算」を選択します。

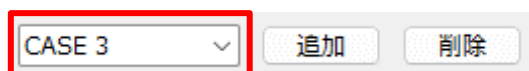


- 2) 「斜線・逆日影計算」ダイアログが開きます。

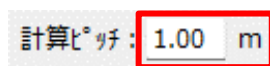
- 3) 「追加」を選択します。



- 4) 「計算 CASE 選択」プルダウンメニューに、「CASE 3」が追加されます。



- 5) 「計算ピッチ」を「1.00」に設定します。



- 6) 「計算タイプ」より、「斜線計算」及び「逆日影計算(高層型)」にチェックを入れます。



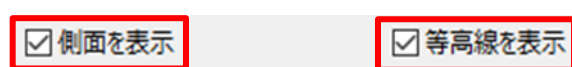
- 7) 「基準辺」より、「敷地辺」にチェックを入れ、「No3」を選択します。



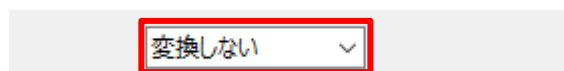
- 8) 「建物後退」プルダウンメニューより、「後退無」を選択します。



- 9) 「側面を表示」及び「等高線を表示」にチェックを入れます。



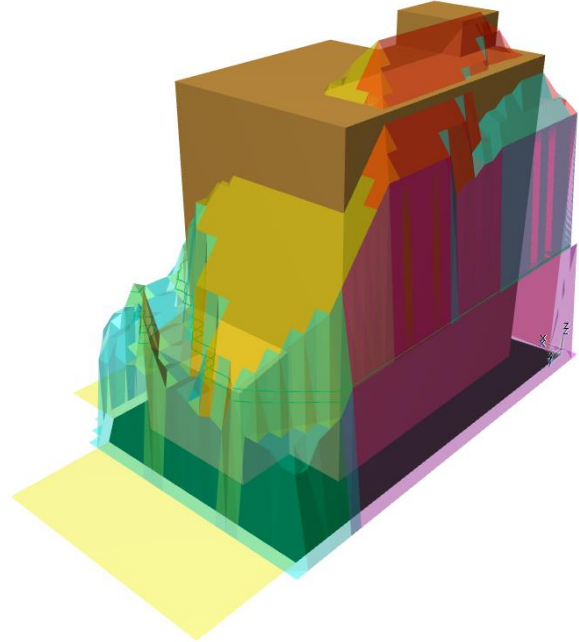
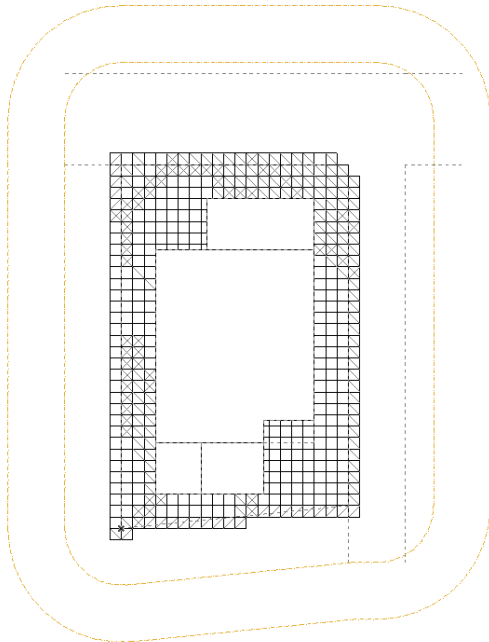
- 10) 「変換選択」プルダウンメニューより、「変換しない」を選択します。



11) 「計算」を選択します。

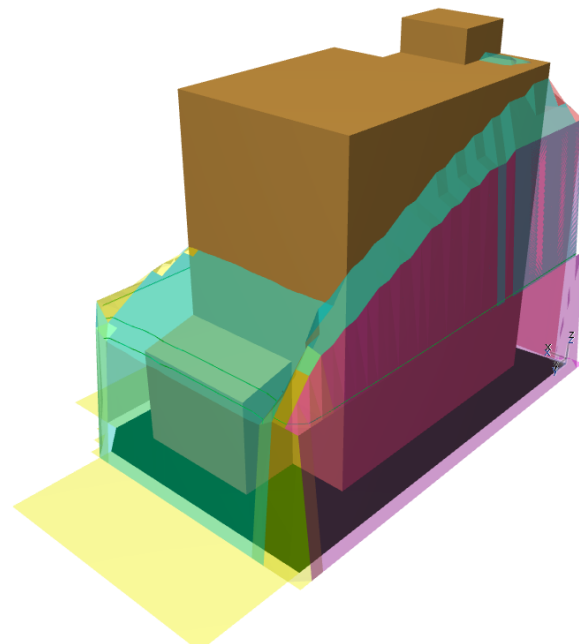
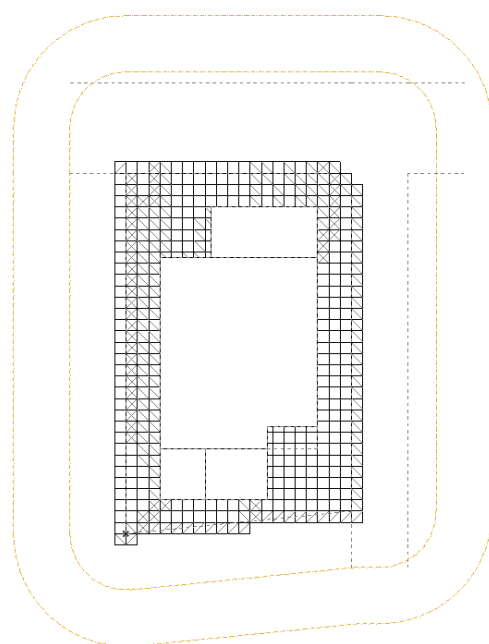
12) 斜線計算及び逆日影計算が実行され、斜線メッシュと等高線オブジェクトが作成されます

・斜線計算+逆日影計算(高層型)



※3D 表示は「ADS_敷地領域」レイヤーを表示しています。

💡 「CASE3」の斜線メッシュは、「ADS_斜線逆日影(3)」レイヤーに保存されます。



※3D 表示は「ADS_敷地領域」レイヤーを表示しています。

・(参考)斜線計算+逆日影計算(低層型)

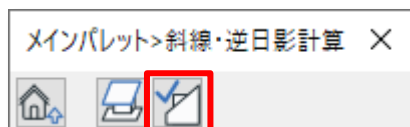
4-3 建物高チェックをする

- 建物が入力されている場合に、各種斜線制限に適合しているかチェックします。
- 計算対象の高さ制限は、道路高さ制限、隣地高さ制限、北側高さ制限、及び高度地区による制限です。
- 計算対象要素の配置から、後退距離を自動的に算出し、反映します。

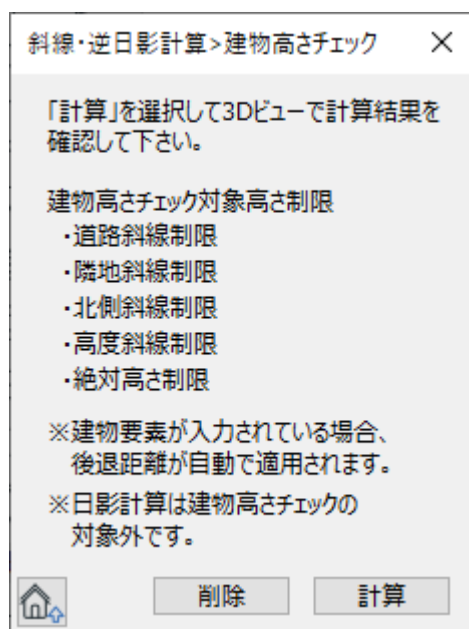
[操作手順]

1) 「ADS_斜線逆日影」、「ADS_斜線逆日影(2)及び(3)」レイヤーを非表示にします。

2) 斜線・逆日影計算サブパレットより、「建物高さチェック」を選択します。

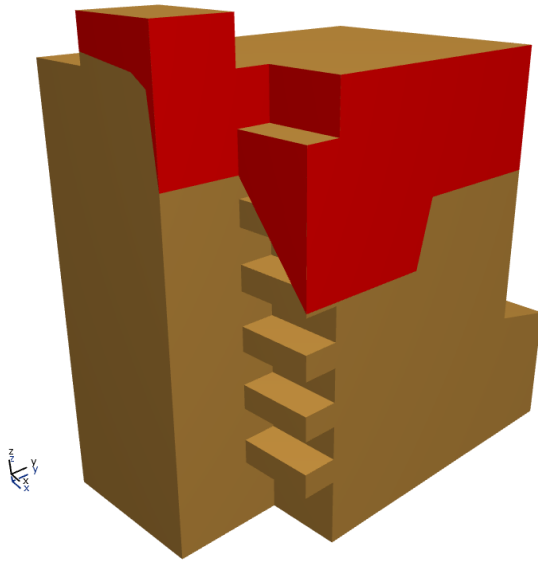


3) 「建物高さチェックの設定」ダイアログが開きます。



4) 「計算」を選択します。

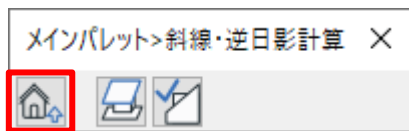
- 5) 各種斜線制限に不適合の部分が、赤色のモルフで 3D ウィンドウに表示されます。



建物高さチェックモルフは、「ADS_建物高さチェック」レイヤーに保存されます。



- 6) 「ADS_建物高さチェック」レイヤーを非表示にします。
- 7) 斜線・逆日影計算サブパレットより、「メインパレットに戻る」を選択します。



5 日影計算をする

5-1 日影計算のワークフロー

○ 本マニュアルでの日影計算のワークフローです。

規制ラインチェック

日影規制ライン上における、日影規制の適否の判定を行います。



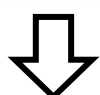
時刻日影計算

時刻日影を計算し、時刻日影形状図を作成します。



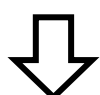
等時間日影計算

等時間日影を計算し、等時間日影図を作成します。



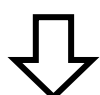
日影時間確認

特定点を登録し、特定点における日影時間を確認します。



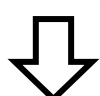
日照定規確認

日照定規を作成し、建物のどこが日影時間に影響を及ぼしているか確認します。



半天空図確認

半天空図を作成し、建物のどこが日影時間に影響を及ぼしているか確認します。



表出力

日影計算に関連する表を出力します。

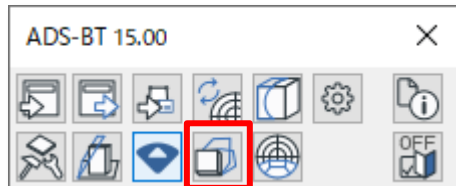
5-2 日影計算サブパレットを開く

- 日影計算サブパレットを開き、日影計算を実行するレイヤーセットを選択します。
- 選択したレイヤーセットの計算対象要素をもとに日影計算を実行します。

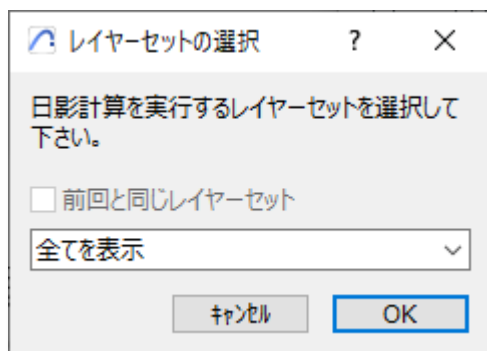
5-2-1 日影計算サブパレットを開く


[操作手順]


- 1) メインパレットより、「日影計算」を選択します。



- 2) 「レイヤーセットの選択」ダイアログが開きます。

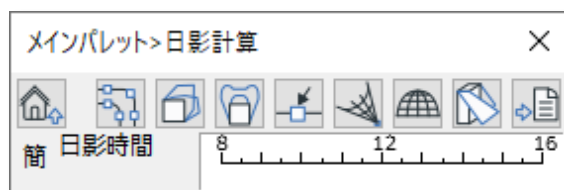


 本マニュアルでは「全てを表示」レイヤーセットの計算対象要素をもとに日影計算を実行します。実案件では日影計算を実行したい計算対象要素を含むレイヤーセットを作成しておくことを推奨します。

 2回目以降に日影計算を実行する場合、「前回と同じレイヤーセット」チェックボックスが有効になります。チェックを入れると、前回計算時と同じレイヤーセットで日影計算を実行することができます。

- 3) 「OK」を選択します。

- 4) 日影計算サブパレットが開きます。



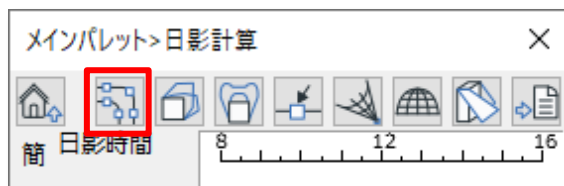
5-3 規制ラインチェックを実行する

- 日影規制ライン上に等ピッチのチェックポイントを作成し、日影規制の適否の判定を行います。
- 等時間図計算と比較して、短い計算時間で適否の結果を得ることができます。

5-3-1 規制ラインチェックを実行する

[操作手順]

- 1) 日影計算サブパレットより、「規制ラインチェック」を選択します。

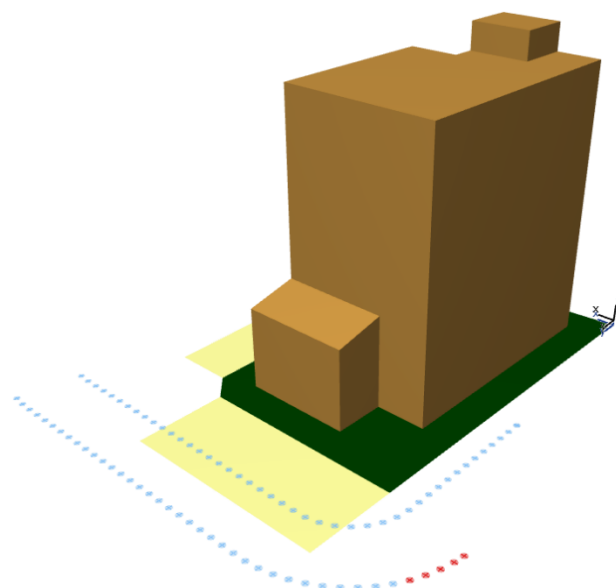
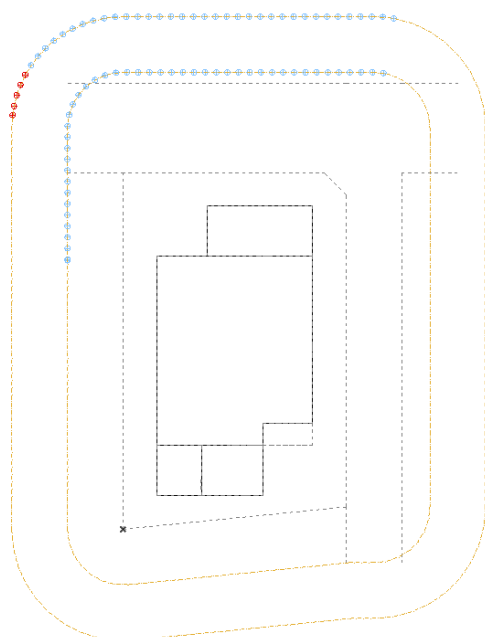


- 2) 「規制ラインチェック」ダイアログが開きます。



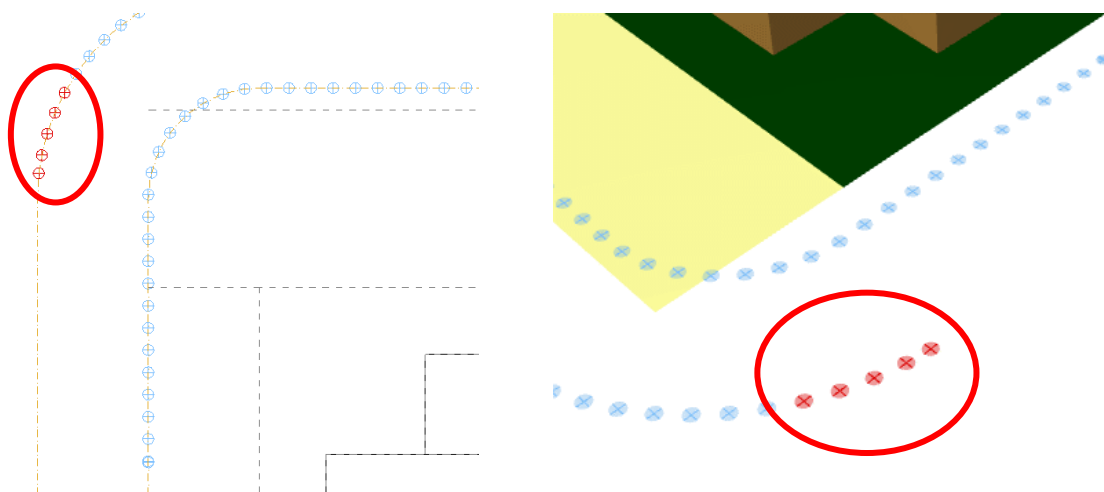
ピッチを細かくすると、規制ラインチェックの精度が上がります。


- 3) 「OK」を選択します。
- 4) 規制ラインチェックポイントが作成されます。







※3D 表示は「ADS_敷地領域」レイヤーを表示しています。

※本マニュアルの計画では、不適合箇所があります。



 規制ラインチェックポイントの見方は下表の通りです。

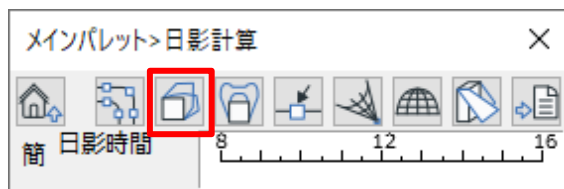
判定	表示	デフォルトペン番号
適合		
不適合		

5-4 時刻日影計算を実行する

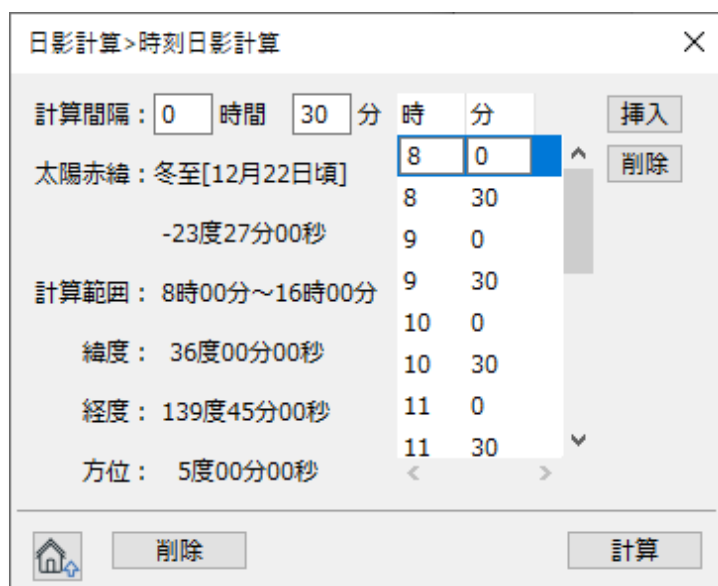
○ 時刻日影を計算し、時刻日影形状図を作成します。

[操作手順]

1) 日影計算サブパレットより、「時刻日影計算」を選択します。



2) 「時刻日影図計算の設定」ダイアログが開きます。

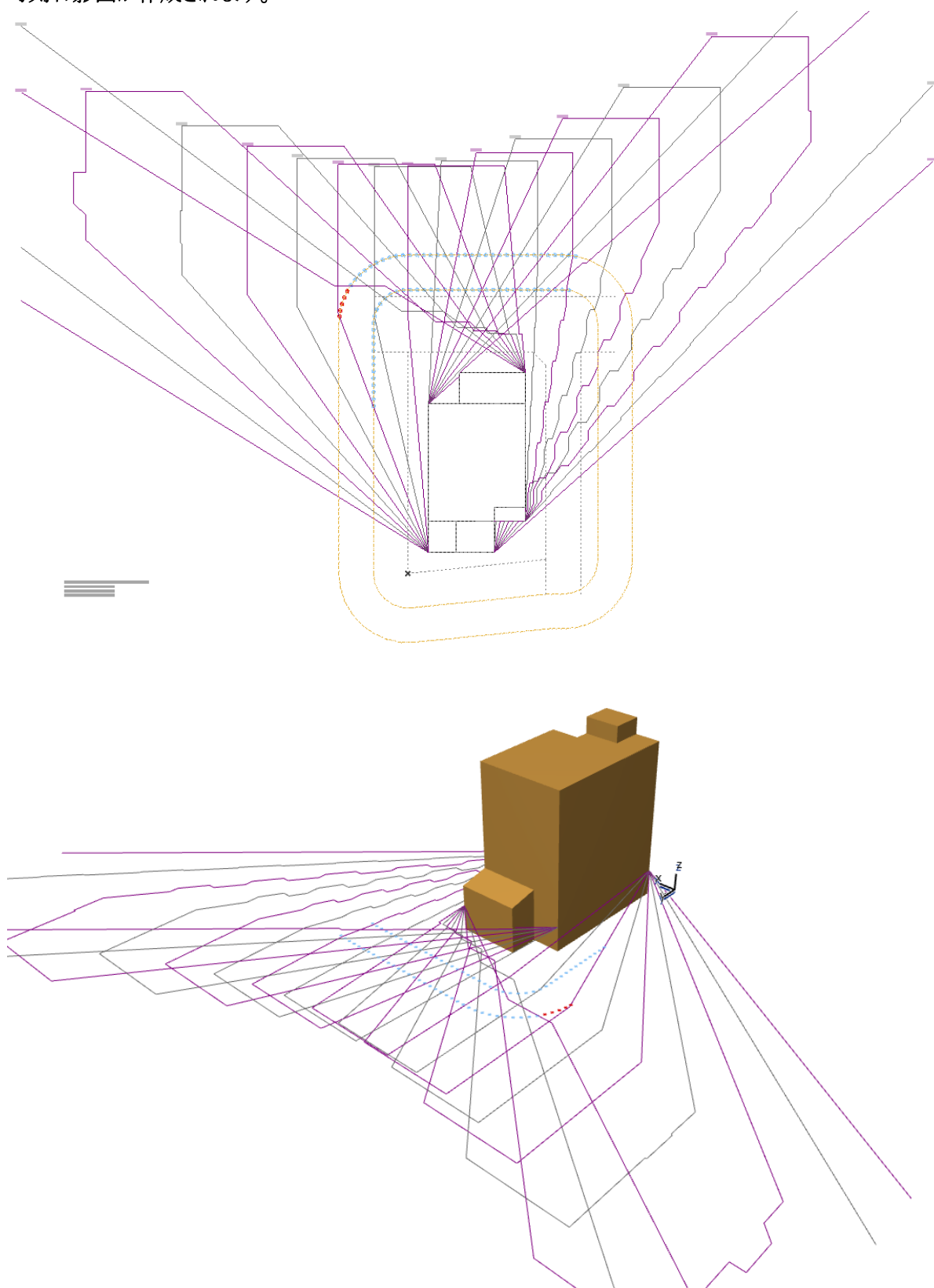


💡 確認申請では 30 分毎の日影形状図が要求されています。

💡 太陽赤緯、計算範囲、緯度・経度、方位が正しいか確認します。

3) 「計算」を選択します。

4) 時刻日影図が作成されます。



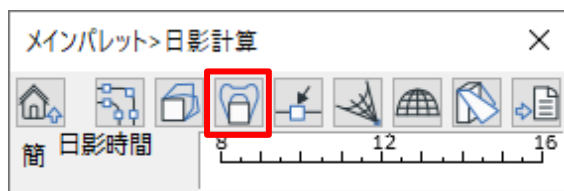
5-5 等時間日影計算を実行する

- 等時間日影を計算し、等時間日影図を作成します。
- 本マニュアルでは「規制時間計算(メッシュ法)」で計算します。

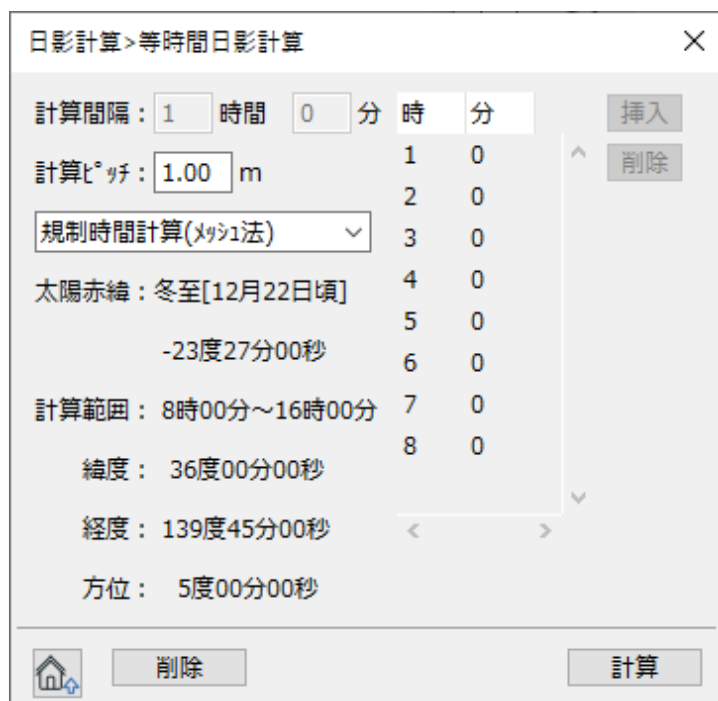
5-5-1 等時間日影計算を実行する


[操作手順]

- 1) 平面図ウインドウを開きます。
- 2) 日影計算サブパレットより、「等時間日影計算」を選択します。

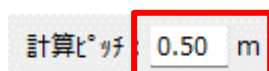



- 3) 「等時間日影計算」ダイアログが開きます。



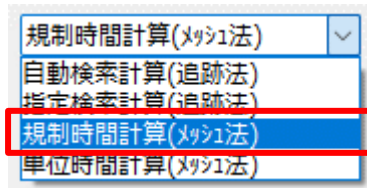
 太陽赤緯、計算範囲、緯度・経度、方位が正しいか確認します。

- 4) 「計算ピッチ」を「0.50」mに設定します。



 計算ピッチを細かくすると、等時間日影図の精度が上がります。

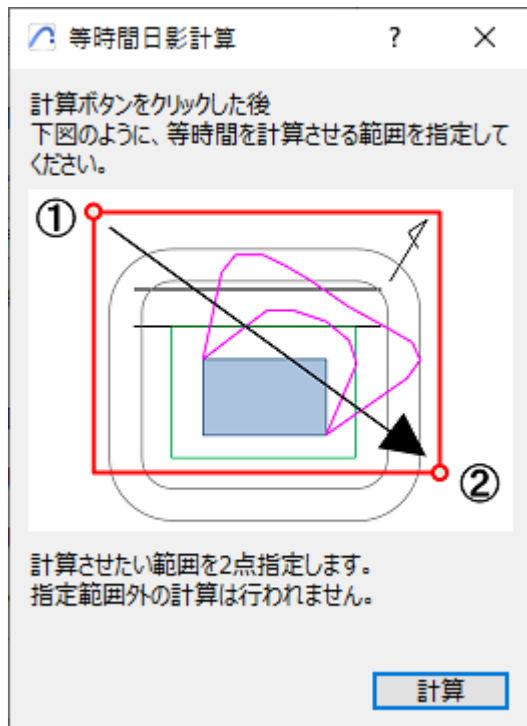
- 5) 「計算方法選択」プルダウンメニューより、「規制時間計算(メッシュ法)」を選択します。



各計算方法については、リファレンスマニュアルを参照して下さい。

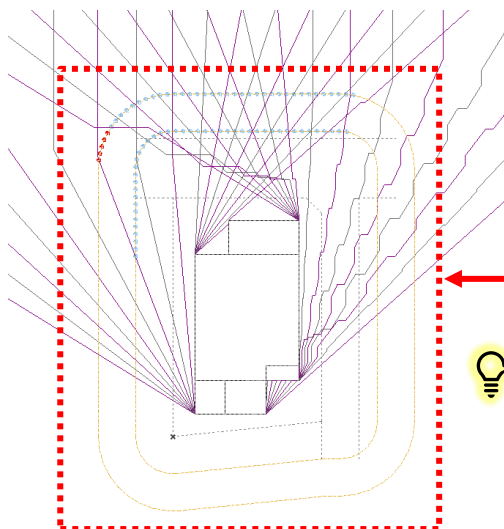
- 6) 「計算」を選択します。

- 7) 確認ダイアログが開きます。



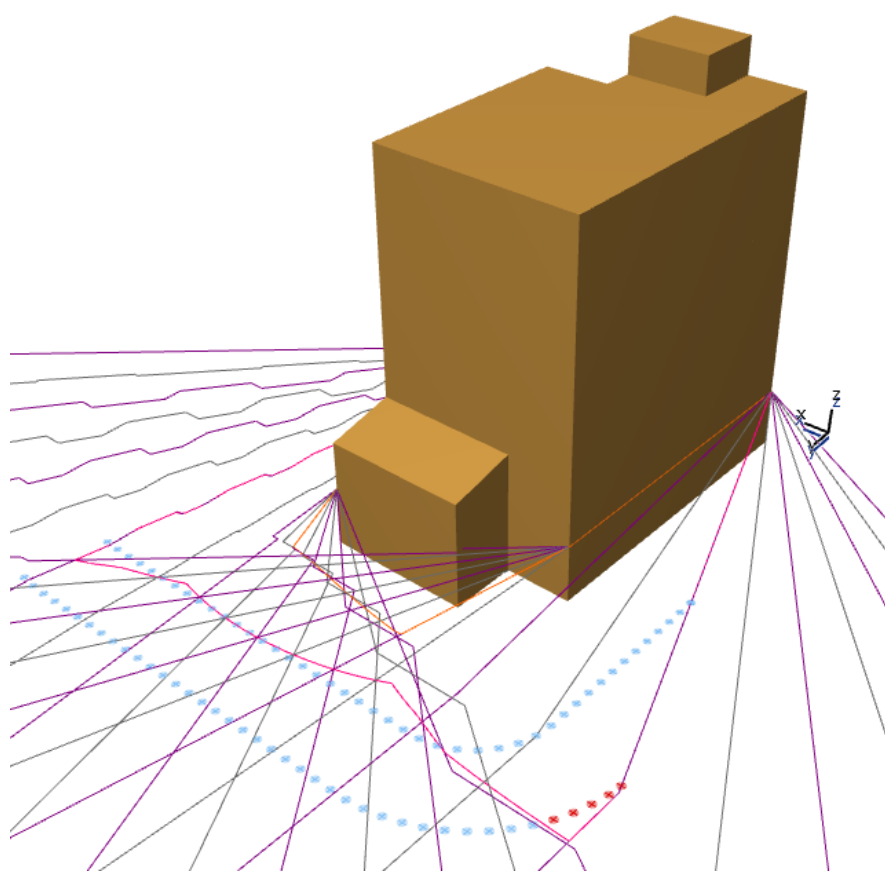
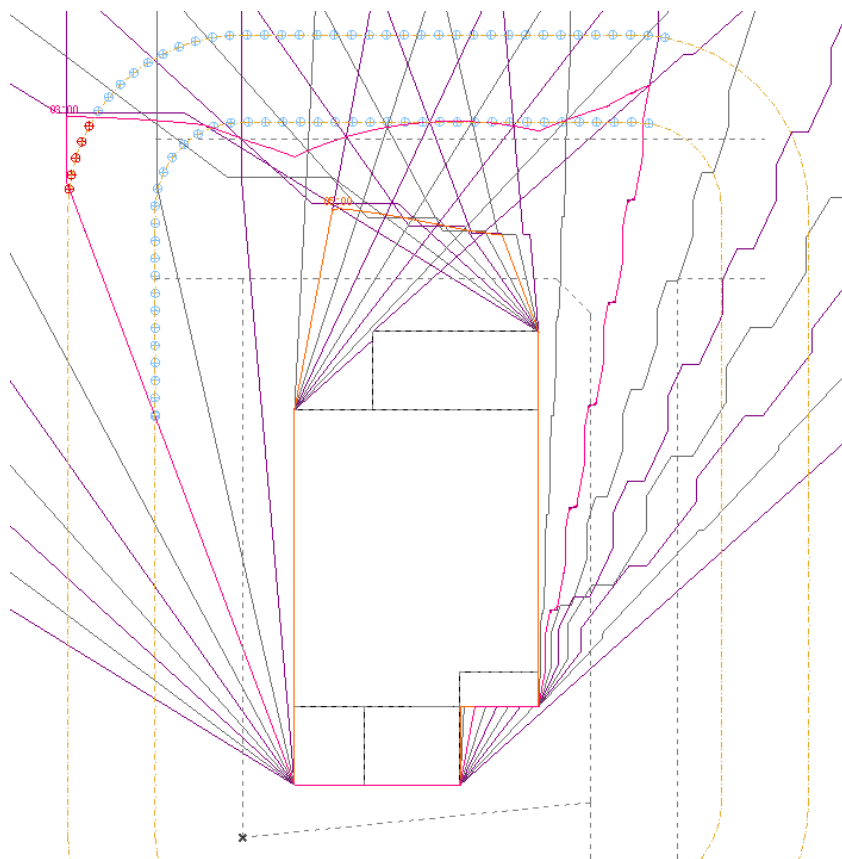
- 8) 「計算」を選択します。

- 9) 平面図で、計算範囲を矩形で指定します。



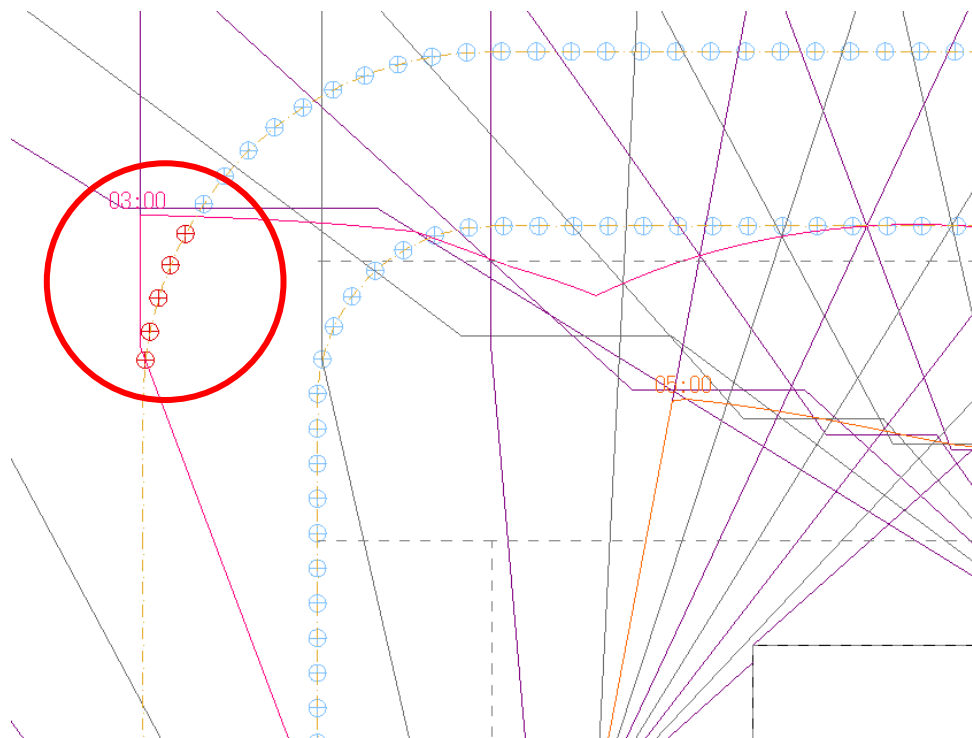
10mラインを超える程度の範囲を指定します。
指定した範囲内のみ等時間図計算を実行します。

10) 等時間日影図が作成されます。



※本マニュアルでは等時間図の色をデフォルト設定とは異なる色にしています。

※本マニュアルの計画では、不適合箇所があります。



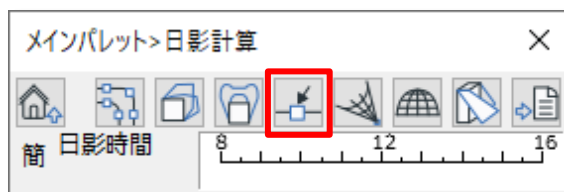
5-6 日影時間を確認する

- 日影の影響を把握するための日影特定点を平面図上の任意の位置に登録します。
- 日影特定点を選択すると、日影計算サブパレットで日影特定点における日影時間を確認することができます。
- 登録した日影特定点から日影特定点リストを作成することができます。

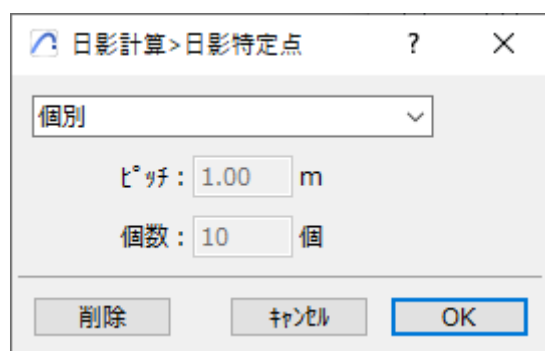
5-6-1 日影特定点を登録する

[操作手順]

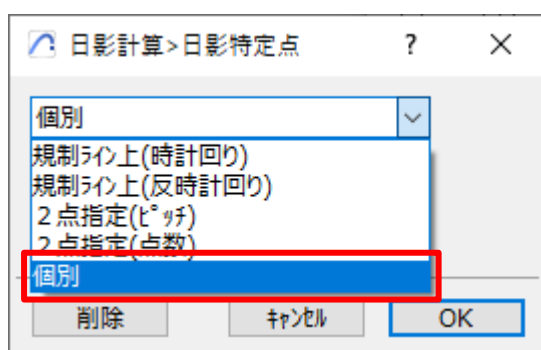
- 1) 平面図ウィンドウを開きます。
- 2) 日影計算サブパレットより、「日影特定点」を選択します。




- 3) 「日影特定点」ダイアログが開きます。

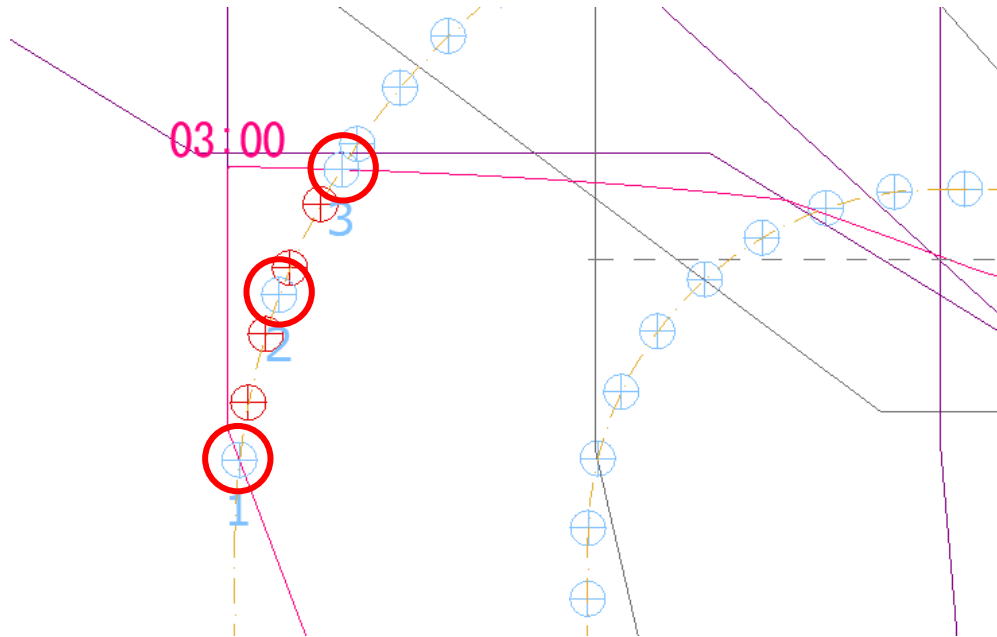


- 4) 「日影特定点作成方法選択」プルダウンメニューより、「個別」を選択します。



 任意の点に日影特定点を1つずつ作成します。

- 5) 平面図上で、下図の3点を指定し、日影特定点を登録します。



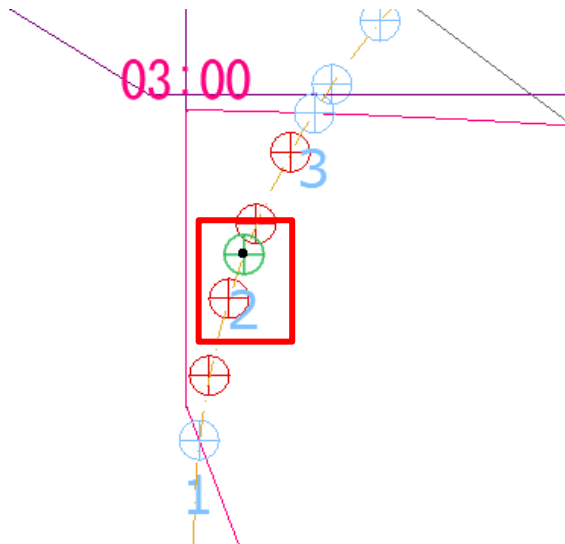
- 6) 「ESC」キーを選択、または右クリックメニューの「キャンセル」を選択して操作を終了します。

5-6-2 日影特定点の日影時間を確認する

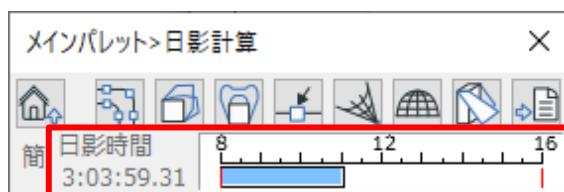
[操作手順]

- 1) 平面図より、日影特定を選択します。

※本マニュアルでは日影特定点 No2 を選択しています。



- 2) 日影計算サブパレットに、選択した日影特定点の日影時間とバーチャートが表示されます。



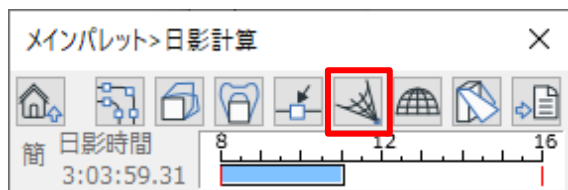
規制ラインチェックポイントを選択した場合も、日影時間とバーチャートが表示されます。

5-7 日照定規を確認する

- 日影特定点上に日照定規を表示することで、建物のどこの部分が日影特定点の日影時間に影響を与えているか確認することができます。

[操作手順]

- 1) 日影計算サブパレットより、「日照定規」を選択します。

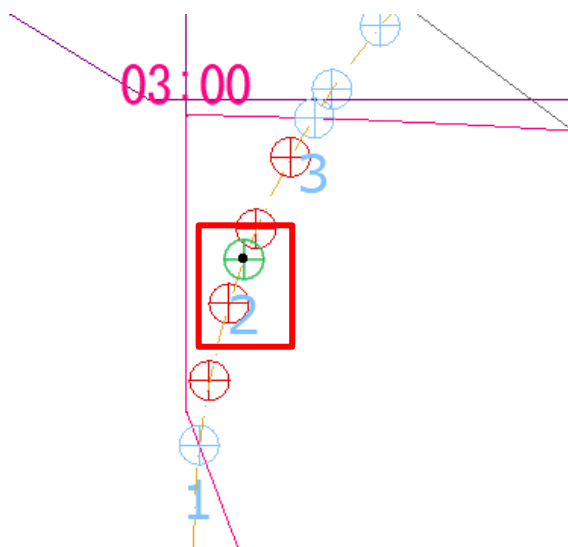


- 2) 「日照定規」ダイアログが開きます。

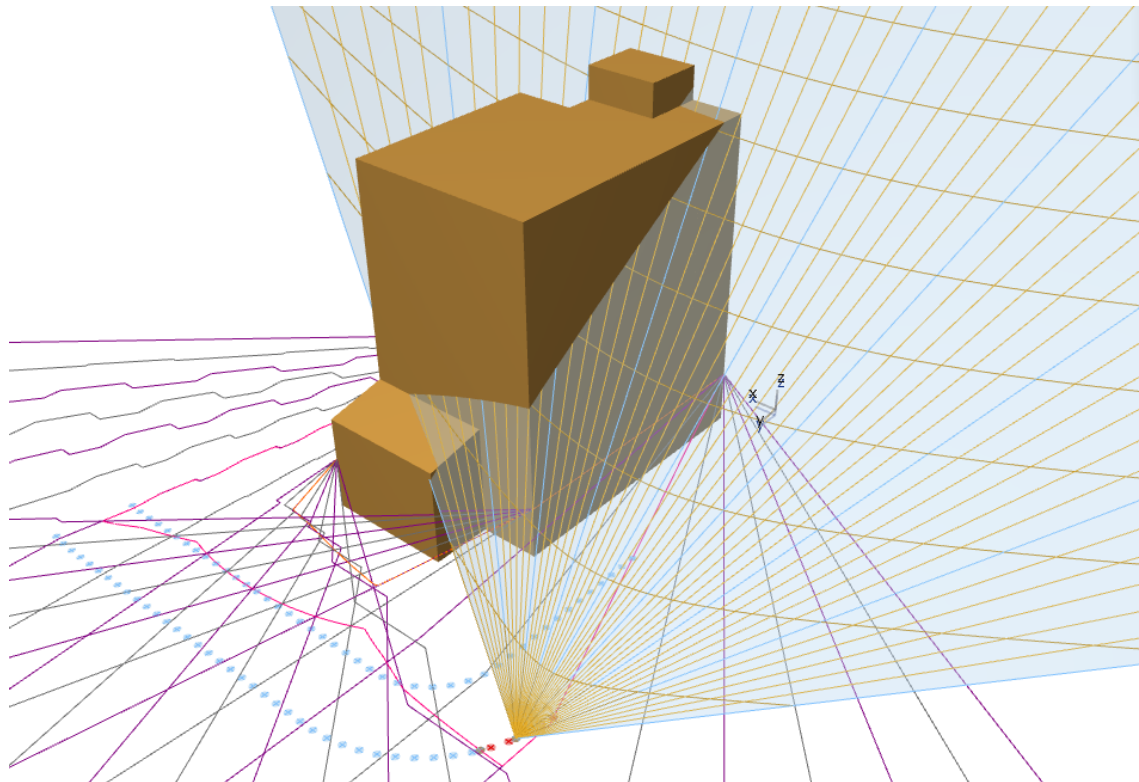
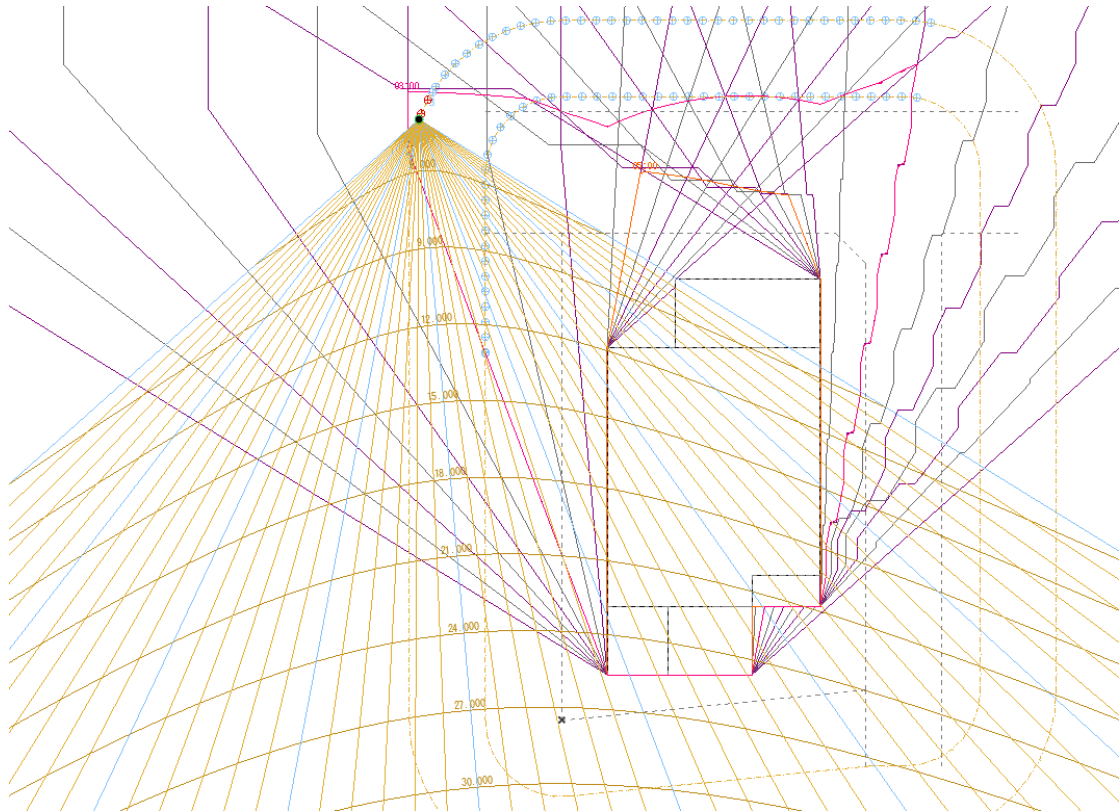


💡 本マニュアルでは特に設定を行いません。

- 3) 「OK」を選択します。
- 4) 平面図より、日影特定点 No2 を選択します。



5) 日照定規が作成されます。



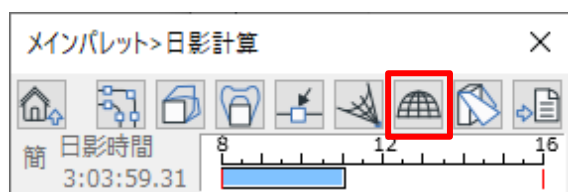
日照定規を超える建物の部分が日影時間に影響を及ぼしています。
日影時間を減少するためには、日照定規を超える建物の部分を小さくする必要があります。

5-8 半天空図を確認する

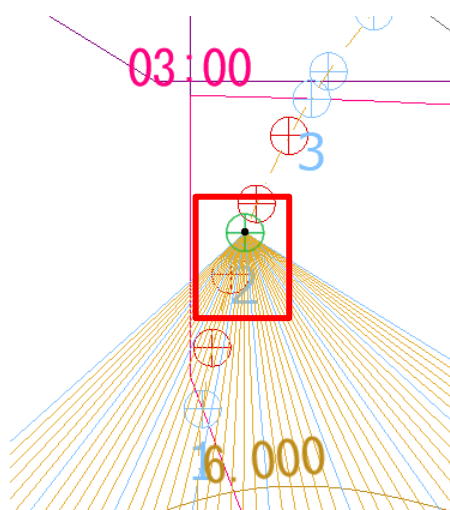
- 日影特定点における半天空図をワークシートに出力し、建物のどこの部分が日影特定点の日影時間に影響を与えているか確認することができます。

[操作手順]

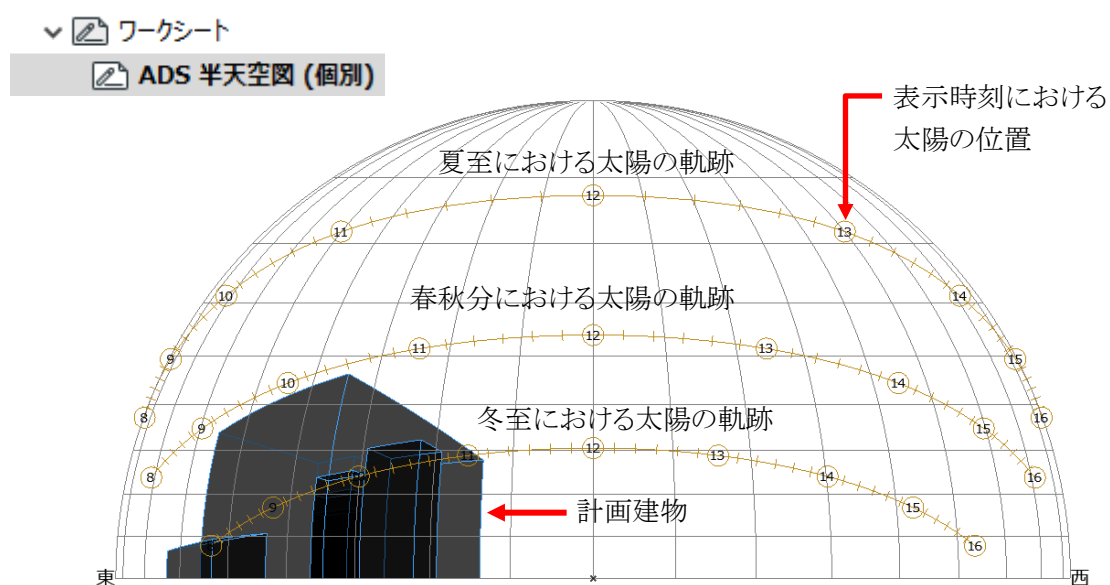
- 1) 日影計算サブパレットより、「半天空図」を選択します。



- 2) 平面図より、日影特定点 No2 を選択します。



- 3) 「ADS 半天空図(個別)」ワークシートが作成されます。



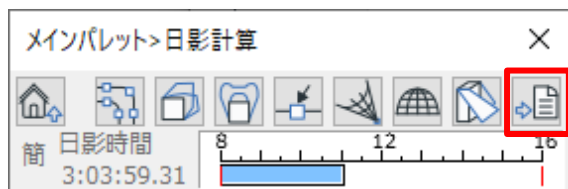
冬至における太陽の軌跡を超える建物の部分が日影時間に影響を及ぼしています。日影時間を減少するためには、冬至における太陽の軌跡を超える建物の部分を小さくする必要があります。

5-9 表を出力する

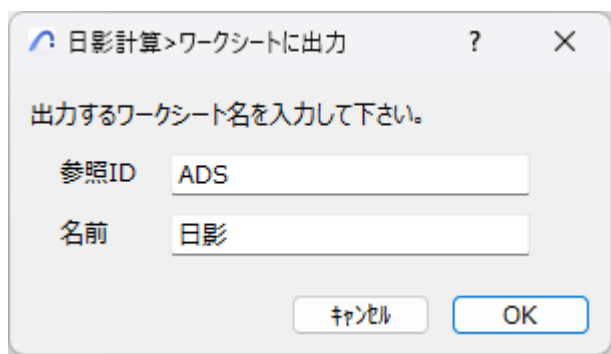
○ 日影計算に関する各種表をワークシートに出力します。

[操作手順]

- 1) 平面図ウインドウを開きます。
- 2) 日影計算サブパレットより、「ワークシートに出力」を選択します。



- 3) 「ワークシートに出力」ダイアログが開きます。



- 4) 「はい」を選択します。
- 5) 「ADS 日影 (個別)」ワークシートが作成されます。

▼ ワークシート

ADS 日影 (個別)

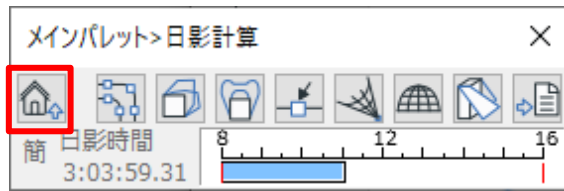
基準倍率表					日影特定点リスト											
時刻	方位角[度]	倍率	X	Y	No	X座標[m]	Y座標[m]	測定高[m]	節気/日付	赤緯	日影時間	開始時間	終了時間			
8:00	-53.3284	7.2201	-6.1449	3.7908	1	-9.932	37.163	4.000	冬至 12月22日頃	-23度27分00秒	3:00:00.00	8:00:00.00	11:00:00.00			
8:30	-48.2236	4.4787	-3.5873	2.6813	2	-9.368	39.498	4.000	冬至 12月22日頃	-23度27分00秒	3:03:59.39	8:00:00.00	11:03:59.39			
9:00	-42.6898	3.2888	-2.4321	2.2138	3	-8.485	41.271	4.000	冬至 12月22日頃	-23度27分00秒	3:00:01.71	8:00:00.00	8:01:12.49			
9:30	-36.6820	2.6341	-1.7516	1.9672								8:10:07.22	11:08:56.45			
10:00	-30.1744	2.2320	-1.2858	1.8245												
10:30	-23.1743	1.9746	-0.9323	1.7406												
11:00	-15.7339	1.8128	-0.6418	1.6954												
11:30	-7.9582	1.7231	-0.3863	1.6792												
12:00	0.0000	1.6942	-0.1476	1.6878												
12:30	7.9582	1.7231	0.0889	1.7208												
13:00	15.7339	1.8128	0.3376	1.7811												
13:30	23.1743	1.9746	0.6159	1.8761												
14:00	30.1744	2.2320	0.9494	2.0200												
14:30	36.6820	2.6341	1.3834	2.2415												
15:00	42.6898	3.2888	2.0107	2.6026												
15:30	48.2236	4.4787	3.0672	3.2635												
16:00	53.3284	7.2201	5.3933	4.8003												



「基準倍率表」は、確認申請で要求される「日影形状算定表」に用いる算式です。

「日影特定点リスト」は、各日影特定点の日影時間等のリストです。

- 6) 平面図ウィンドウを開きます。
- 7) 「ADS_日影」、「ADS_時刻日影」及び「ADS_等時間日影」各レイヤーを非表示にします。
- 8) 日影計算サブパレットより、「メインパレットに戻る」を選択します。



6 天空率計算をする

6-1 天 空 率 計 算 の ワ ー ク フ ロ ー

○ 本マニュアルでの天空率計算のワークフローです。

天空率算定領域生成

簡易設定で、方式を選択して天空率算定領域を自動生成します。



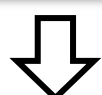
天空率算定領域確認

自動生成した天空率算定領域を確認します。



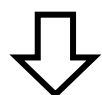
天空率計算

天空率計算を行います。



位置確認指定点確認

位置確認指定点を確認します。



表出力

各種表を出力します。

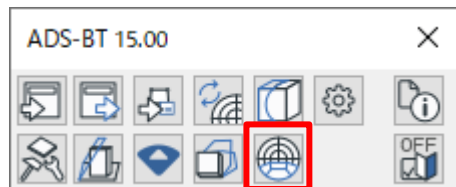
6-2 天空率計算サブパレットを開く

- 天空率計算サブパレットを開き、天空率計算を実行するレイヤーセットを選択します。
- 選択したレイヤーセットの計算対象要素をもとに天空率計算を実行します。

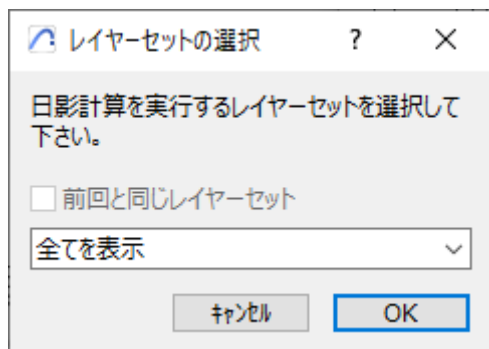
6-2-1 天空率計算サブパレットを開く


[操作手順]


- 1) メインパレットより、「天空率計算」を選択します。



- 2) 「レイヤーセットの選択」ダイアログが開きます。

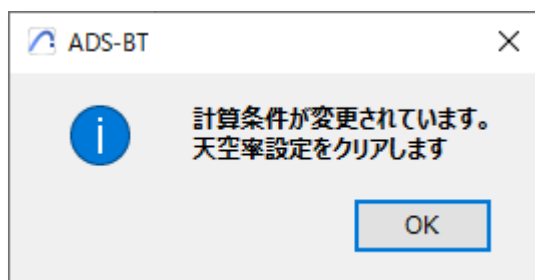


 本マニュアルでは「全てを表示」レイヤーセットの計算対象要素をもとに天空率計算を実行します。実案件では天空率計算を実行したい計算対象要素を含むレイヤーセットを作成しておくことを推奨します。

 2回目以降に天空率計算を実行する場合、「前回と同じレイヤーセット」チェックボックスが有効になります。チェックを入れると、前回計算時と同じレイヤーセットで天空率計算を実行することができます。

- 3) 「OK」を選択します。

- 4) 確認ダイアログが開きます。





下表の場合に確認ダイアログが表示されます。

初めて天空率算定領域を生成する場合
2 回目以降に天空率算定領域を生成する場合で、与条件設定に変更がある場合
2 回目以降に天空率算定領域を生成する場合で、建物の変更によって後退距離が変化している場合
2 回目以降に天空率算定領域を生成する場合で、前回の天空率算定領域作成時とレイヤーまたはクラスの表示が異なる場合

5) 「OK」を選択します。

6) 天空率計算サブパレットが開きます。

6-3 天空率算定領域を生成する

○ JCBA 方式による天空率算定領域を自動生成します。

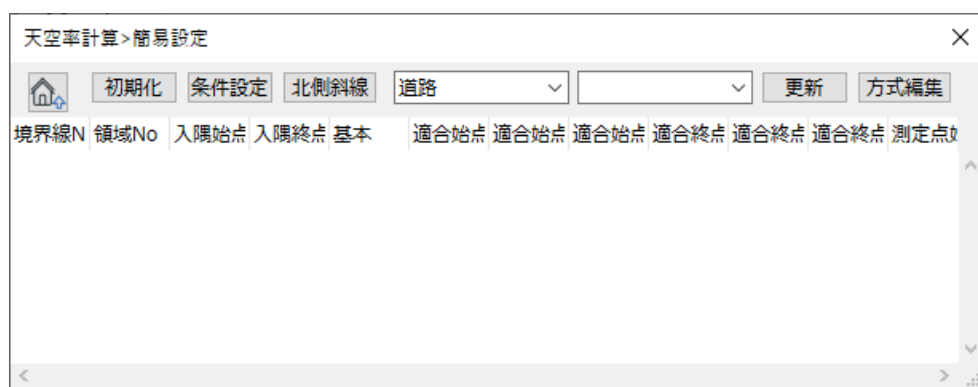
6-3-1 天空率算定領域を簡易設定する

[操作手順]

1) 天空率計算サブパレットより、「簡易設定」を選択します。



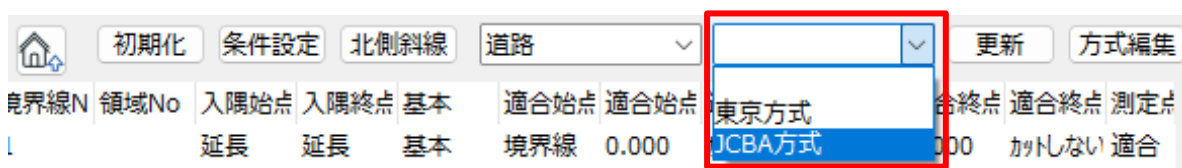
2) 「簡易設定」ダイアログが開きます。



3) 「道路」が選択されていることを確認します。

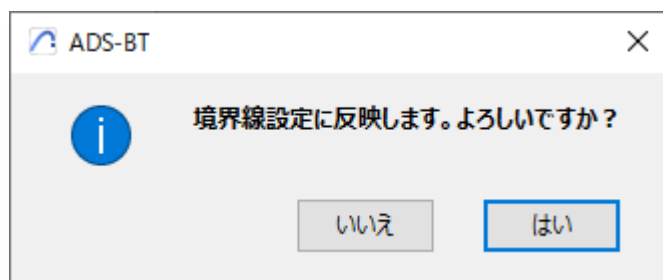


4) 「方式選択」プルダウンメニューより、「JCBA 方式」を選択します。



「JCBA 方式」または「東京方式」を選択できます。

5) 確認ダイアログが開きます。



6) 「はい」を選択します。

7) 道路境界線に JCBA 方式の設定が適用されます。

境界線No	領域No	入隅始点	入隅終点	基本	適合始点	適合始点	適合始点	適合終点	適合終点	適合終点	測定点
1		延長	擋鉢	基本	延長	0.000	加付しない	延長	0.000	加付しない	適合
3		延長	延長	基本	延長	0.000	加付しない	延長	0.000	加付しない	適合

💡 「基本処理」や「適合始点・終点処理」、「測定点始点・終点処理」等の設定が変更されます。

💡 各設定項目は手動での設定も可能です。詳細はリファレンスマニュアルを参照して下さい。

8) 「更新」を選択します。

9) 天空率算定領域が自動生成されます。

境界線No	領域No	入隅始点	入隅終点	基本	適合始点	適合始点	適合始点	適合終点	適合終点	適合終点	測定点
1		延長	擋鉢	基本	延長	0.000	加付しない	延長	0.000	加付しない	適合
	1			基本	延長	0.000	加付しない	延長	0.000	加付しない	適合
	2			基本	延長	0.000	加付しない	延長	0.000	加付しない	適合
3		延長	延長	基本	延長	0.000	加付しない	延長	0.000	加付しない	適合
	3			基本	延長	0.000	加付しない	延長	0.000	加付しない	適合

💡 黒色の文字の行が道路境界線を、青色の文字の行が天空率算定領域を示します。
上記リストでは、「境界線 No1」の道路境界線から「領域 No1 及び No2」の天空率算定領域が生成され、「境界線 No3」の道路境界線から「領域 No3」の天空率算定領域が生成されていることを示しています。

10) 「サブパレットに戻る」を選択します。

6-4 天空率算定領域を確認する

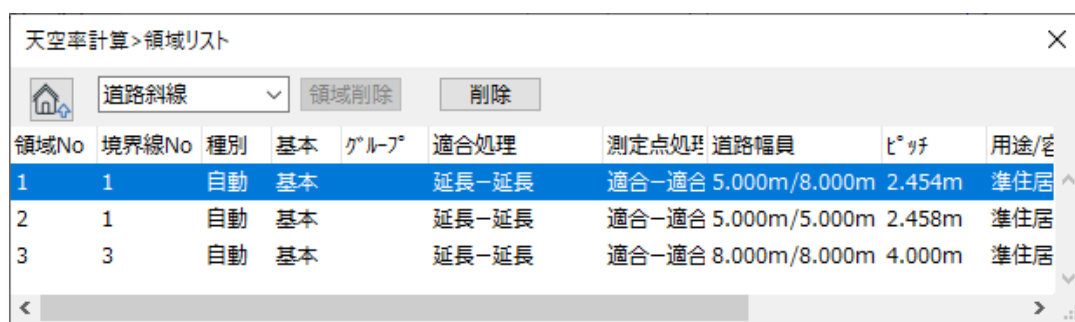
○ 自動生成した天空率算定領域を確認します。

[操作手順]

1) 天空率計算サブパレットより、「領域リスト」を選択します。

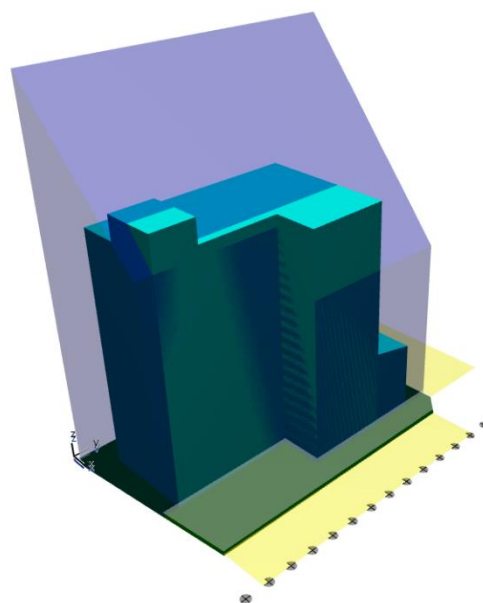
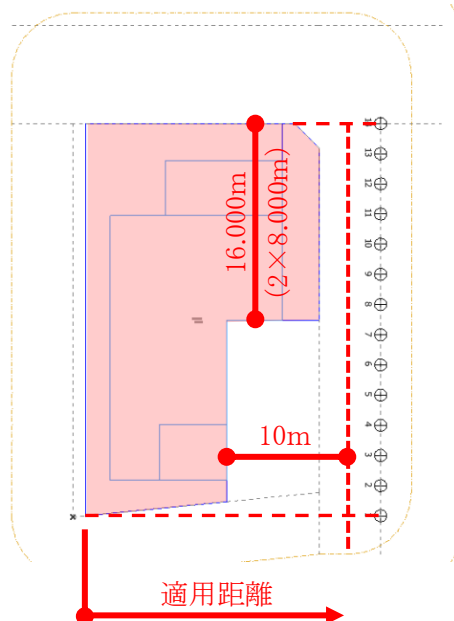


2) 「領域リスト」ダイアログが開きます。



3) 「領域 No1 境界線 No1」を選択します。

4) 「領域 No1 境界線 No1」の領域が表示されます。



※3D 表示は「ADS_敷地領域」レイヤーを表示しています。



領域 No1 は、東側道路(幅員 5.000m)に対して、令 132 条 1 項が適用される区域の天空率算定領域です。

北側道路境界線から 16.000m(北側道路の幅員 8.000mの 2 倍且つ 35m以内)の範囲と、東側道路の中心から 10mを超える範囲に、道路幅員を 8.000mとみなした適合建築物が生成されています。

東側道路境界線始点側の適合建築物の端部は、道路境界点を超えて隣地境界線まで延長しています。

西側は適用距離までが適合建築物の範囲となっています。

適合建築物が、始点-終点共、道路境界線よりも延長しています

測定点の端点が、始点-終点共、適合建築物の最大幅になっています

領域No	境界線No	種別	基本	グループ	適合処理	測定点処理
1	1	自動	基本		延長-延長	適合-適合

「実際の道路幅員/法 56 条第 6 項による道路幅員(道路斜線に適用される緩和後の道路幅員)」を示します。領域 No1 では「実際の道路幅員(5.000m)」よりも「法 56 条第 6 項による道路幅員(8.000m)」の方が大きい値になっているため、5.000m道路に対して 8.000m道路の緩和が適用されている令 132 条第 1 項の区域と判断することができます

道路幅員	ピッチ	用途/容積率	後退距離	適用距離	地盤高
5.000m/8.000m	2.454m	準住居/70/320	3.000m	30m	0.000m

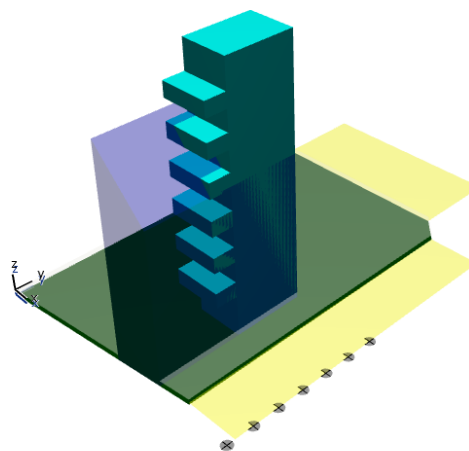
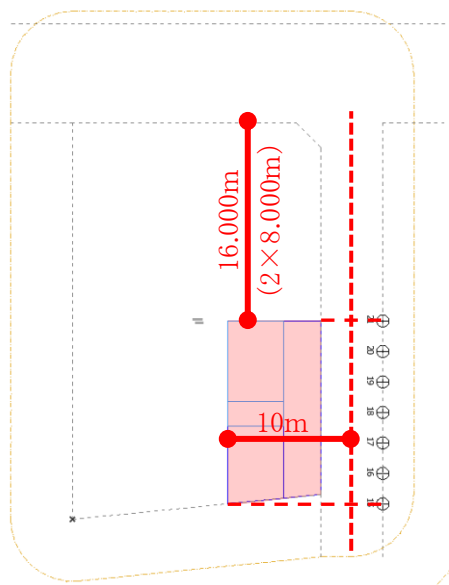
適合建築物の範囲は適用距離までとなっています

後退距離による緩和が適用されています

測定点のピッチは、道路幅員 5.000mの 1/2 以内の等間隔となっています

5) 「領域 No2 境界線 No1」を選択します。

6) 「領域 No2 境界線 No1」の領域が表示されます。



※3D 表示は「ADS_敷地領域」レイヤーを表示しています。



東側道路の中心から 10m 以内の範囲で、令 132 条 3 項に該当する区域の天空率算定領域です。
東側道路境界線始点側の適合建築物の端部は、道路境界点を超えて隣地境界線まで延長しています。
西側は適用距離までが適合建築物の範囲となっています。
測定点は適合建築物の最大幅に端点が設定されています。

領域No	境界線No	種別	基本	グループ	適合処理	測定点処理
2	1	自動	基本		延長-延長	適合-適合

適合建築物が、始点-終点共、道路境界線よりも延長しています

測定点の端点が、始点-終点共、適合建築物の最大幅になっています

「実際の道路幅員/法 56 条第 6 項による道路幅員(道路斜線に適用される緩和後の道路幅員)」を示します。領域 No2 では「実際の道路幅員(5.000m)」と「法 56 条第 6 項による道路幅員(5.000m)」が最小幅員道路の幅員になっているため、5.000m 道路の中心から 10m 以内且つ北側道路の 2A 範囲外である令 132 条第 3 項の区域と判断することができます

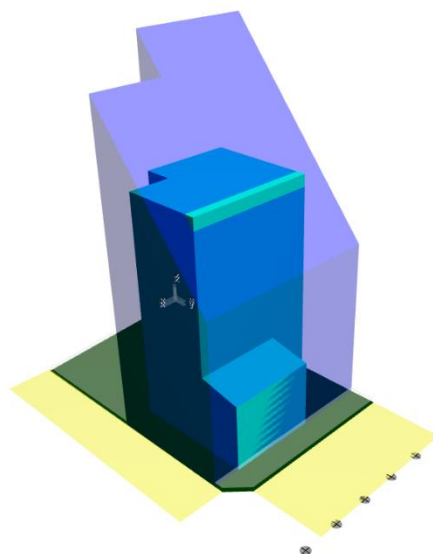
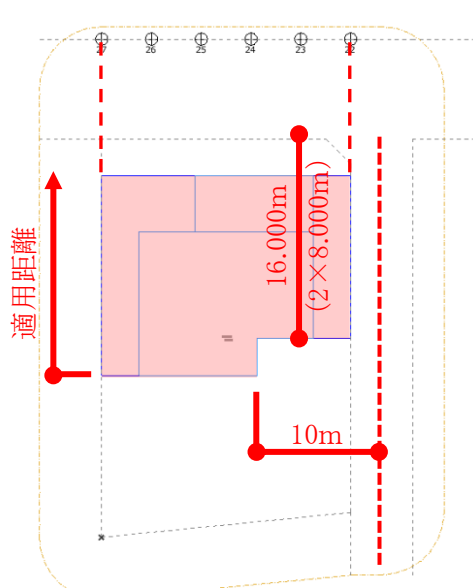
道路幅員	ピッチ	用途/容積率	後退距離	適用距離	地盤高
5.000m/5.000m	2.458m	準住居/70/320	3.000m	30m	0.000m

後退距離による緩和が適用されています

測定点のピッチは、道路幅員 5.000m の 1/2 以内の等間隔となっています

7) 「領域 No3 境界線 No3」を選択します。

8) 「領域 No3 境界線 No3」の領域が表示されます。



※3D 表示は「ADS_敷地領域」レイヤーを表示しています。



北側道路の天空率算定領域です。

南側は適用距離までが適合建築物の範囲となっています。

測定点は適合建築物の最大幅に端点が設定されています。

適合建築物が、始点-終点共、道路境界線よりも延長しています

測定点の端点が、始点-終点共、適合建築物の最大幅になっています

領域No	境界線No	種別	基本	グループ	適合処理	測定点処理
3	3	自動	基本		延長-延長	適合-適合

「実際の道路幅員/法 56 条第 6 項による道路幅員(道路斜線に適用される緩和後の道路幅員)」を示します。領域 No3 では「実際の道路幅員(8,000m)」と「法 56 条第 6 項による道路幅員(8,000m)」が最小幅員道路の幅員になっているため、8,000m道路の令 132 条が適用されない区域と判断することができます

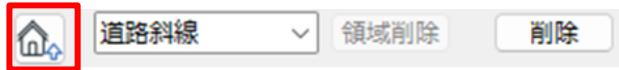
道路幅員	ピッチ	用途/容積率	後退距離	適用距離	地盤高
8,000m/8,000m	4,000m	準住居/70/320	3,000m	30m	0.000m

適合建築物の範囲は適用距離までとなっています

後退距離による緩和が適用されています

測定点のピッチは、道路幅員 8,000m の 1/2 以内の等間隔となっています

-
- 9) 自動生成した天空率算定領域が適切であると確認できました。
- 10) 「領域リスト」ダイアログより、「サブパレットに戻る」を選択します。



6-5 天空率計算を実行する

○ 天空率計算を実行します。

6-5-1 天空率計算を実行する

[操作手順]

1) 「天空率算定領域選択」プルダウンメニューより、「No:1 境界線:1」を選択します。



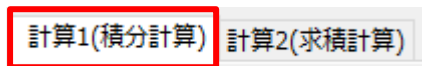
2) 天空率計算サブパレットより、「計算」を選択します。



3) 「計算」ダイアログが開きます。



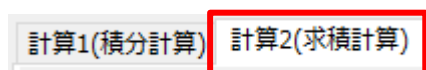
4) 「計算1(積分計算)」タブを選択します。



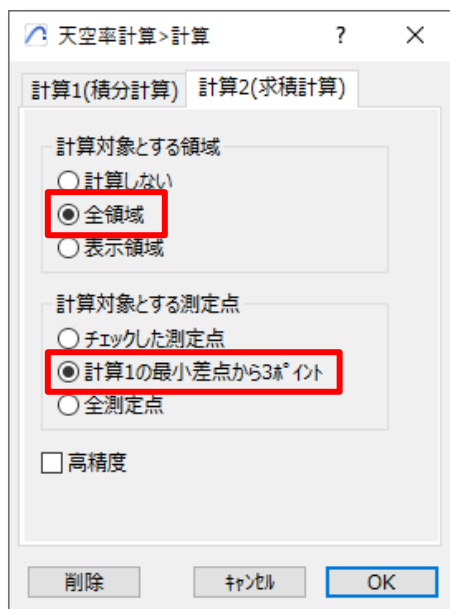


「全領域」にチェックを入れて天空率計算を実行すると、全ての天空率算定領域を一括で計算します。

- 5) 「全領域」にチェックを入れます。
- 6) 「計算 2(求積計算)」タブを選択します。



- 7) 「計算対象とする領域」より、「全領域」にチェックを入れます。
- 8) 「計算対象とする測定点」より、「計算 1 の最小差点から 3 ポイント」にチェックを入れます。



「全領域」にチェックを入れて天空率計算を実行すると、全ての天空率算定領域を一括で計算します。



「計算 1 の最小差点から 3 ポイント」にチェックを入れて天空率計算を実行すると、計算 1 の結果が不利な順に 3 ポイントを計算 2 の対象とします。

- 9) 「OK」を選択します。
- 10) 天空率計算が開始します。

6-5-2 天空率計算結果を確認する

[操作手順]

○ 天空率計算サブパレットより、計算結果を確認します。

- 1) 「計算 1」にチェックを入れます。
- 2) 「No:1 境界線:1」の「計算 1」の天空率計算の結果を確認します。

メインパレット>天空率計算

簡易設定 境界条件 領域リスト 領域条件 グループ 放射設定 計算

位置確認 測定ライン 複合隣地 ナビ 表出力

道路斜線 No:1 境界線:1 ☒ 計算 1 ☐ 計算 2

項目	値	No	適合	計画	計-適	判定	順位
用途地域	準住居/70/320	1	86.759	87.620	0.861	○	7
適用距離	30m	2	85.410	86.111	0.701	○	4
後退距離	3.000m	3	83.091	83.859	0.768	○	5
地盤高	0.000m	4	81.066	81.675	0.609	○	3
道路幅員	5.000m/8.000m	5	79.420	79.920	0.500	○	1
ピッチ	2.454m	6	78.170	78.708	0.538	○	2
最大道路	8.000m	7	77.303	78.110	0.807	○	6
グループ		8	76.791	78.127	1.336	○	8
		9	76.673	78.851	2.178	◎	9
		10	77.061	80.428	3.367	◎	
		11	78.108	82.846	4.738	◎	
		12	80.010	85.223	5.213	◎	
		13	82.894	87.863	4.969	◎	
		14	86.538	89.866	3.328	◎	

全ての測定点で天空率の規定に適合しています。

- 3) 「計算 2」にチェックを入れます。
- 4) 「No:1 境界線:1」の「計算 2」の天空率計算の結果を確認します。

メインパレット>天空率計算

簡易設定 境界条件 領域リスト 領域条件 グループ 放射設定 計算

位置確認 測定ライン 複合隣地 ナビ 表出力

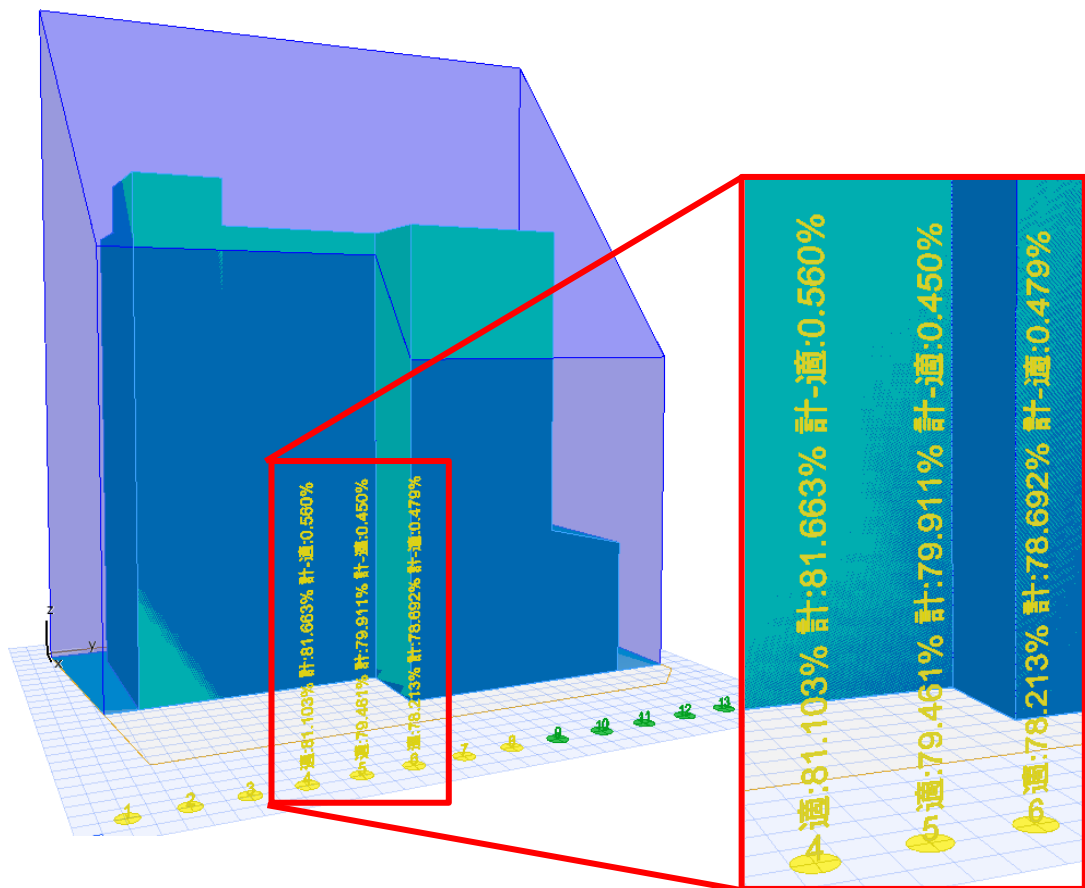
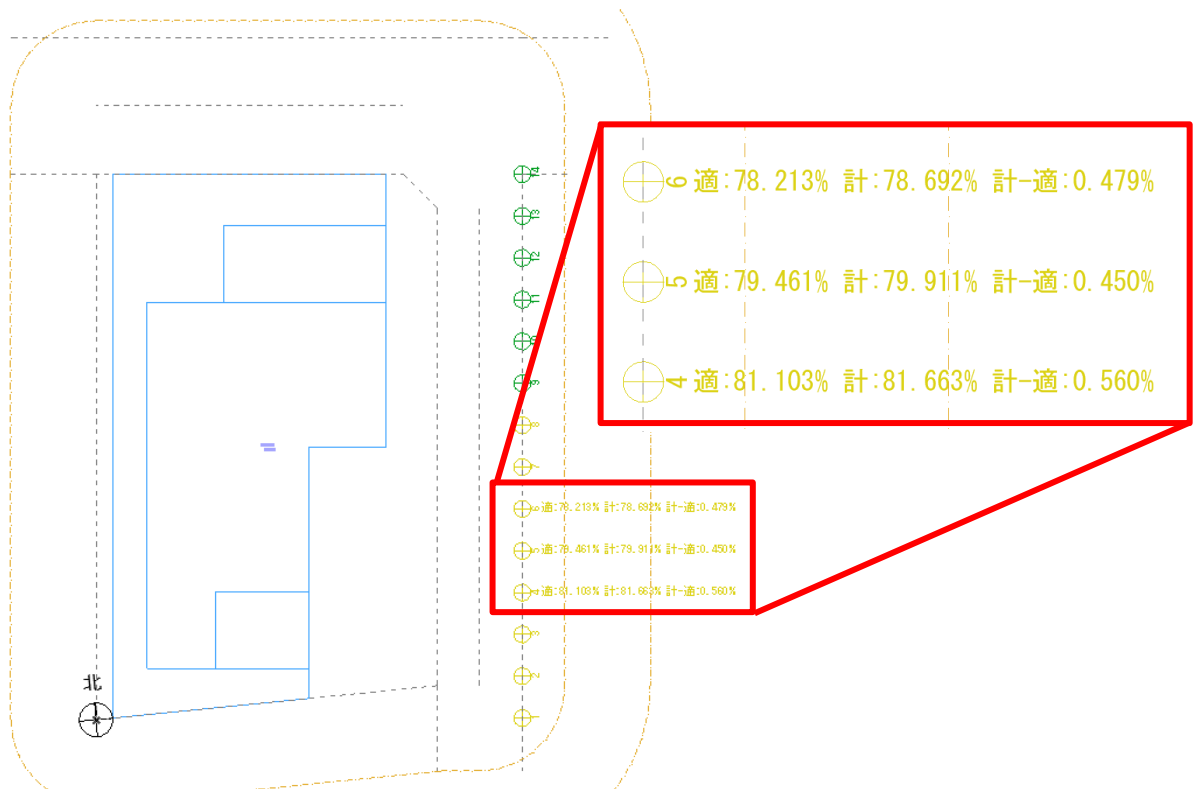
道路斜線 No:1 境界線:1 ☐ 計算 1 ☒ 計算 2

項目	値	No	順位	計算	適合	計画	計-適	判定	差1-差2
用途地域	準住居/70/320	1	7						
適用距離	30m	2	4						
後退距離	3.000m	3	5						
地盤高	0.000m	4	3		81.103	81.663	0.560	○	0.049
道路幅員	5.000m/8.000m	5	1		79.461	79.911	0.450	○	0.050
ピッチ	2.454m	6	2		78.213	78.692	0.479	○	0.059
最大道路	8.000m	7	6						
グループ		8	8						
		9	9						
		10							
		11							
		12							
		13							
		14							

最終的な適否の判断は「計算 2」の「計-適」欄の値で行います。
初期設定では「計-適」欄が 0.020% 以上で適合となります。



初期設定では平面図及び3D ウィンドウで計算 2 の結果を測定点の近傍に表示します。
表示/非表示の設定は、「環境設定/天空率図形タブ」で行います。



- 5) 「天空率算定領域選択」プルダウンメニューより、「No:2 境界線:1」を選択します。
- 6) 「計算 1」にチェックを入れます。
- 7) 「No:2 境界線:1」の「計算 1」の天空率計算の結果を確認します。

メインパレット>天空率計算

簡易設定 境界条件 領域リスト 領域条件 グループ 放射設定 計算

位置確認 測定ライン 複合隣地 ナビ 表出力

道路斜線 No:2 境界線:1 計算 1 計算 2

項目	値	No	適合	計画	計-適	判定	順位
用途地域	準住居/70/320	15	88.888	92.816	3.928	◎	4
適用距離	30m	16	86.521	91.218	4.697	◎	6
後退距離	3.000m	17	84.377	89.630	5.253	◎	7
地盤高	0.000m	18	83.551	88.014	4.463	◎	5
道路幅員	5.000m/5.000m	19	84.139	86.835	2.696	◎	3
ピッチ	2.458m	20	86.076	87.238	1.162	○	2
最大道路	8.000m	21	89.000	89.153	0.153	○	1

グループ

- 8) 「計算 2」にチェックを入れます。
- 9) 「No:2 境界線:1」の「計算 2」の天空率計算の結果を確認します。

メインパレット>天空率計算

簡易設定 境界条件 領域リスト 領域条件 グループ 放射設定 計算

位置確認 測定ライン 複合隣地 ナビ 表出力

道路斜線 No:2 境界線:1 計算 1 計算 2

項目	値	No	順位	計算	適合	計画	計-適	判定	差1-差2
用途地域	準住居/70/320	15	4						
適用距離	30m	16	6						
後退距離	3.000m	17	7						
地盤高	0.000m	18	5						
道路幅員	5.000m/5.000m	19	3		84.176	86.827	2.651	◎	0.045
ピッチ	2.458m	20	2		86.112	87.218	1.106	○	0.056
最大道路	8.000m	21	1		89.028	89.130	0.102	○	0.051

グループ

10) 「天空率算定領域選択」プルダウンメニューより、「No:3 境界線:3」を選択します。

11) 「計算 1」にチェックを入れます。

12) 「No:3 境界線:3」の「計算 1」の天空率計算の結果を確認します。

項目	値	No	適合	計画	計-適	判定	順位
用途地域	準住居/70/320	22	89.515	92.761	3.246	◎	2
適用距離	30m	23	86.233	91.641	5.408	◎	4
後退距離	3.000m	24	84.384	90.193	5.809	◎	6
地盤高	0.000m	25	84.384	90.116	5.732	◎	5
道路幅員	8.000m/8.000m	26	86.233	91.277	5.044	◎	3
ピッチ	4.000m	27	89.515	92.333	2.818	◎	1
最大道路	8.000m						
グループ							

13) 「計算 2」にチェックを入れます。

14) 「No:3 境界線:3」の「計算 2」の天空率計算の結果を確認します。

項目	値	No	順位	計算	適合	計画	計-適	判定	差1-差2
用途地域	準住居/70/320	22	2		89.545	92.752	3.207	◎	0.039
適用距離	30m	23	4						
後退距離	3.000m	24	6						
地盤高	0.000m	25	5						
道路幅員	8.000m/8.000m	26	3		86.271	91.268	4.997	◎	0.047
ピッチ	4.000m	27	1		89.545	92.315	2.770	◎	0.048
最大道路	8.000m								
グループ									

15) 全ての天空率算定領域で天空率の規定に適合していることが確認できました。

6-6 位置確認指定点を確認する

- 確認申請に提出の必要な「正射影図位置確認表」(以下、位置確認表といいます)の位置確認指定点を確認します。

[操作手順]

- 1) 「天空率算定領域選択」プルダウンメニューより、「No:1 境界線:1」を選択します。

The screenshot shows a software interface with several tabs: 簡易設定, 境界条件, 領域リスト, 領域条件, グループ, 放射設定, 計算. Below these are buttons for 位置確認, 測定ライン, 複合隣地, ナビ, and 表出力. A dropdown menu is open, showing '道路斜線' and 'No:1 境界線:1' (which is highlighted with a red box). To the right are radio buttons for '計算 1' and '計算 2'.



位置確認線を確認する天空率算定領域を選択します。

- 2) 「計算 2」にチェックを入れます。



「計算 2」が計算されている測定点を選択します。「計算 2」が計算されていない測定点は位置確認線が表示されません。

- 3) 「天空率算定領域リスト」より、近接点である「測定点 No5」を選択します。

The screenshot shows a dialog box titled 'メインパレット>天空率計算'. It has the same tabs as the previous screenshot. The '計算 2' radio button is selected (highlighted with a red box). Below the tabs is a table with columns: 項目, 値, No, 順位, 計算, 適合, 計画, 計-適, 判定, 差1-差2. The table contains data for various items, and the row for '測定点 No5' is highlighted with a red box.

項目	値	No	順位	計算	適合	計画	計-適	判定	差1-差2
用途地域	準住居/70/320	1	7						
適用距離	30m	2	4						
後退距離	3.000m	3	5						
地盤高	0.000m	4	3		81.103	81.663	0.560	○	0.049
道路幅員	5.000m/8.000m	5	1		79.461	79.911	0.450	○	0.050
ピッチ	2.454m	6	2		78.213	78.692	0.479	○	0.059
最大道路	8.000m	7	6						
グループ		8	8						
		9	9						
		10							
		11							
		12							
		13							
		14							

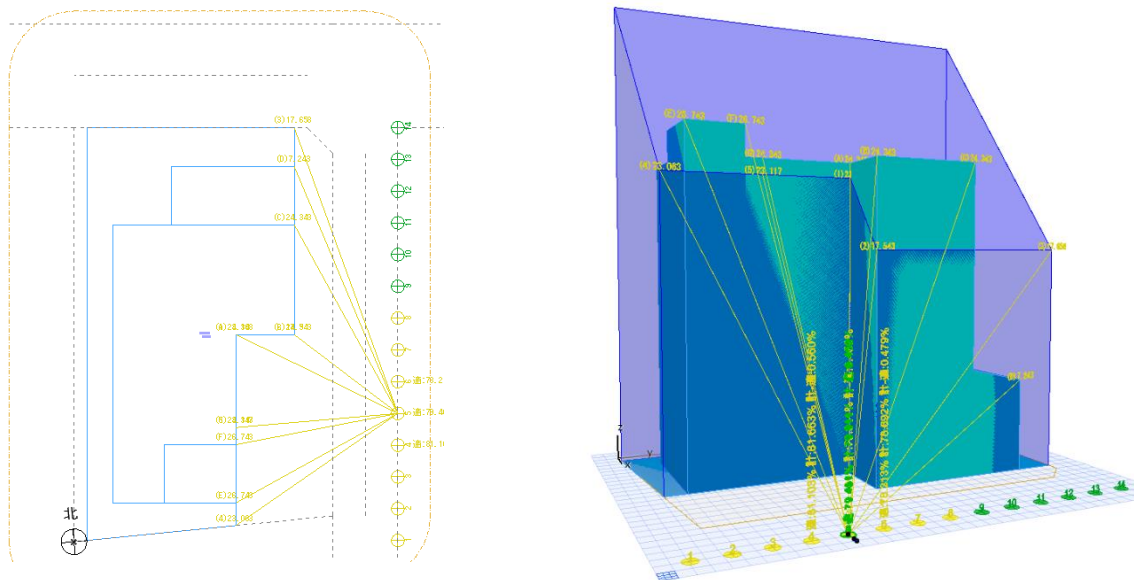
- 4) 天空率計算サブパレットより、「位置確認」を選択します。

The screenshot shows the same software interface as before, but the '位置確認' button is now highlighted with a red box.

5) 「位置確認線」ダイアログが開きます。



6) 適合建築物の位置確認線が表示されます。



💡 初期設定では平面図及び 3D ウィンドウで指定点 No 及び建物高さを表示します。
表示/非表示の設定は、「環境設定/天空率図形タブ」で行います。

7) 適合建築物の位置確認指定点を確認します。

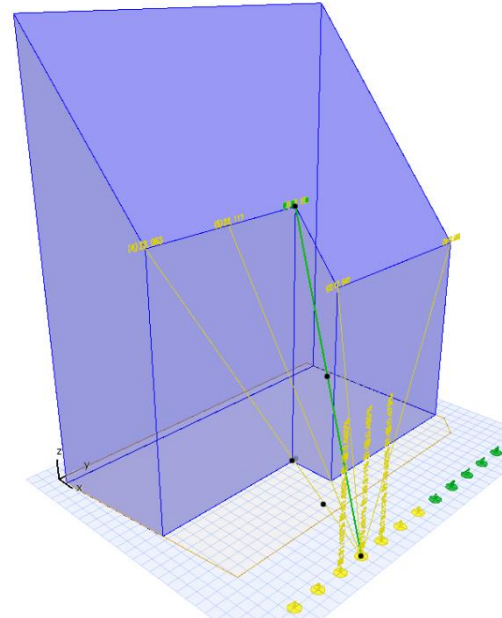
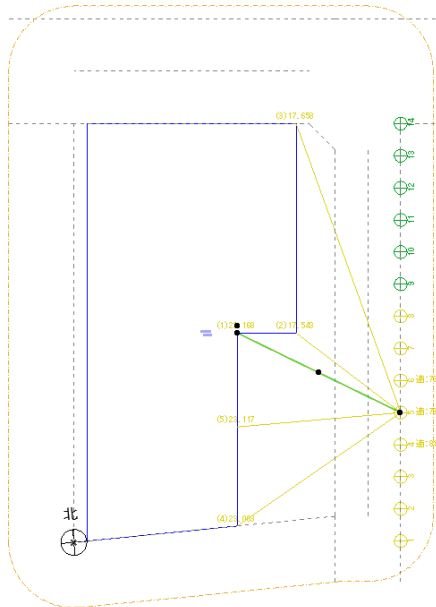
指定点N	建物高さ	水平距離	仰角	方位角	cos(h)
(1)	23.168n	13.902n	59.034°	-59.045'	0.5145
(2)	17.543n	10.051n	60.191°	-47.744'	0.4971
(3)	17.658n	23.489n	36.934°	-14.913'	0.7993
(4)	23.063n	15.210n	56.596°	240.269	0.5505
(5)	23.117n	12.548n	61.507°	270.000	0.4770

💡 位置確認表の「建物高さ」は測定点からの高さです。Archicad の±0 からの高さではありません。

8) 位置確認指定点を選択します。

指定点N	建物高さ	水平距離	仰角	方位角	cos(h)
(1)	23.168n	13.902n	59.034°	-59.045'	0.5145
(2)	17.543n	10.051n	60.191°	-47.744'	0.4971
(3)	17.658n	23.489n	36.934°	-14.913'	0.7993
(4)	23.063n	15.210n	56.596°	240.269	0.5505
(5)	23.117n	12.548n	61.507°	270.000	0.4770

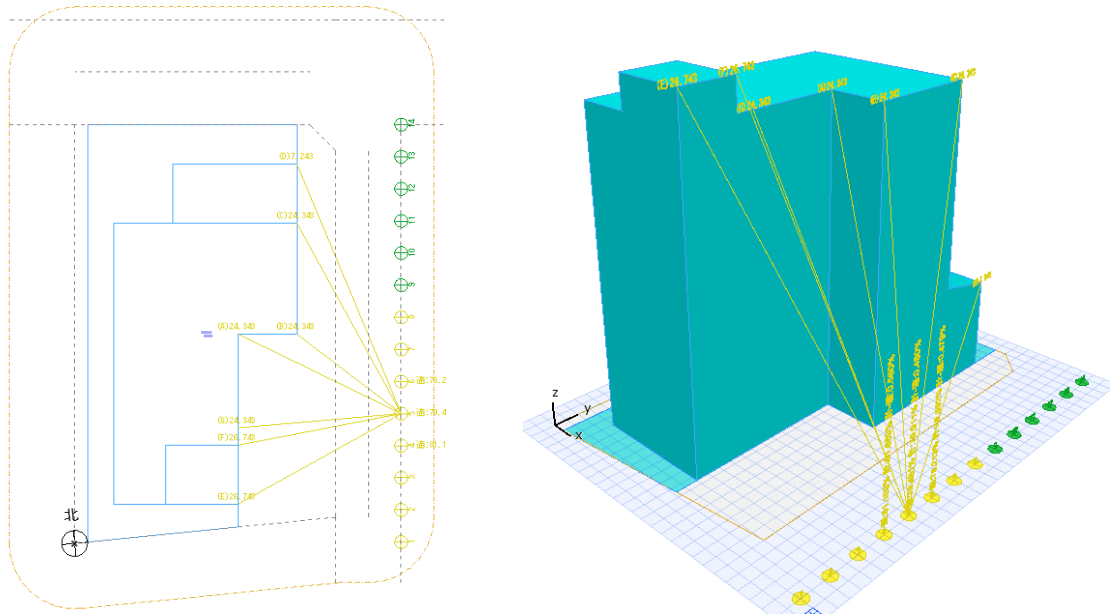
9) 選択した位置確認線が表示されます。




10) 「位置確認線」ダイアログより、「計画」を選択し、計画建築物の位置確認指定点を確認します。

天空率計算>位置確認線					
<div> <input type="button" value="削除"/> <input type="button" value="追加"/> <input type="button" value="自動検索"/> <input type="radio"/> 適合 <input checked="" type="radio"/> 計画 </div>					
指定点N	建物高さ	水平距離	仰角	方位角	cos(h)
(A)	24.343n	13.902n	60.270°	-59.045'	0.4959
(B)	24.343n	10.051n	67.565°	-47.744'	0.3816
(C)	24.343n	16.635n	55.654°	-23.746'	0.5642
(D)	7.243m	20.694n	19.292°	-17.743'	0.9438
(E)	26.743n	14.285n	61.890°	246.047	0.4712
(F)	26.743n	12.731n	64.543°	264.063	0.4298
(G)	24.343n	12.548n	62.731°	270.000	0.4582

11) 計画建築物の位置確認線が表示されます。



 位置確認指定点は、天空図に投影した場合の建築物の外形をなす点となるため、「天空率に影響を及ぼす建築物の部分は何のあたりか」という、ボリューム検討用として利用することが可能です。

12) 「サブパレットに戻る」を選択します。



6-7 天空率算定結果を出力する

○ 天空率算定領域及び天空率計算に関する各種表を出力します。

6-7-1 選択した天空率算定領域を出力する

[操作手順]

1) 「天空率算定領域選択」プルダウンメニューより、「No:1 境界線:1」を選択します。

The screenshot shows a software interface with several tabs: 簡易設定, 境界条件, 領域リスト, 領域条件, グループ, 放射設定, 計算. Below these are buttons for 位置確認, 測定ライン, 複合隣地, ナビ, and 表出力. A dropdown menu is open, showing '道路斜線' and 'No:1 境界線:1' (which is highlighted with a red box). To the right are radio buttons for '計算1' and '計算2' (which is selected).

表を出力する天空率算定領域を選択します。

2) 「計算 2」にチェックを入れます。

3) 「天空率算定領域リスト」より、近接点である「測定点 No5」を選択します。

The screenshot shows a dialog box titled 'メインパレット>天空率計算'. It has the same tabs as the previous screenshot. The '計算2' radio button is selected and highlighted with a red box. Below the tabs is a table with the following data:

項目	値	No	順位	計算	適合	計画	計-適	判定	差1-差2
用途地域	準住居/70/320	1	7						
適用距離	30m	2	4						
後退距離	3.000m	3	5						
地盤高	0.000m	4	3		81.103	81.663	0.560	○	0.049
道路幅員	5.000m/8.000m	5	1	<input checked="" type="checkbox"/>	79.461	79.911	0.450	○	0.050
ピッチ	2.454m	6	2		78.213	78.692	0.479	○	0.059
最大道路	8.000m	7	6						
グループ		8	8						
		9	9						
		10							
		11							
		12							
		13							
		14							

The row for '測定点 No5' (No. 5) is highlighted with a red box.

表を出力する場合は、「計算 2」が計算されている測定点を選択します。ここでは、天空率算定領域 No1 の近接点である「測定点番号 5」を選択しています。

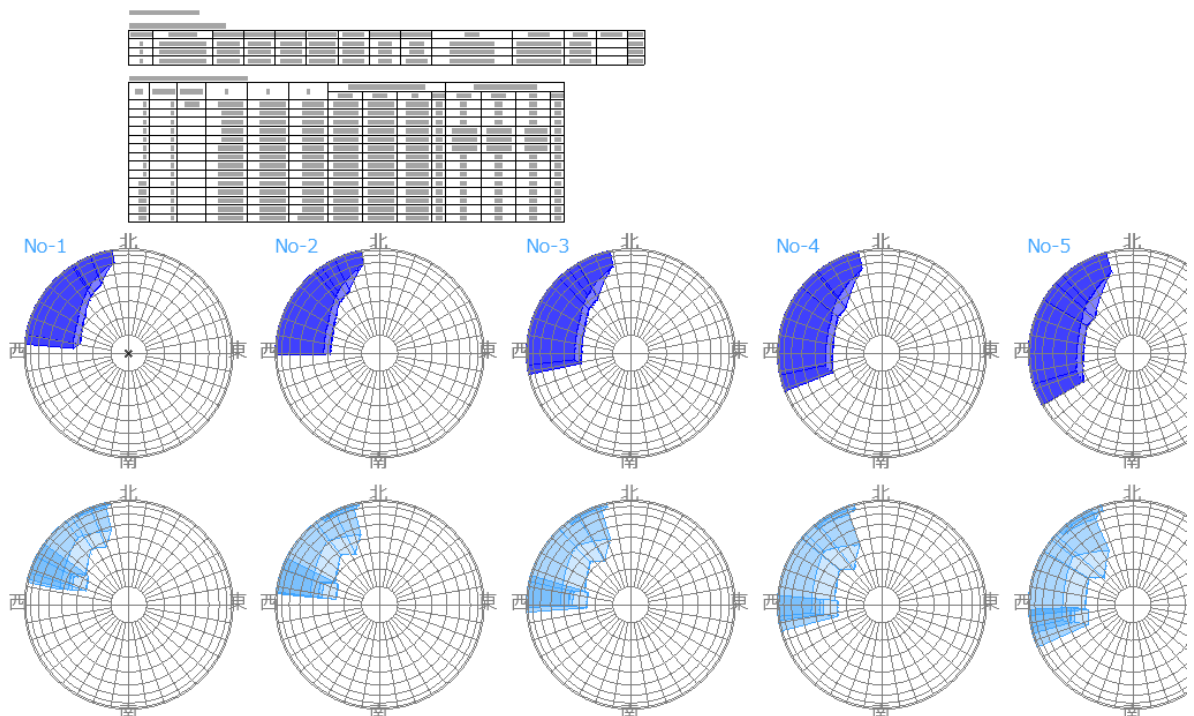
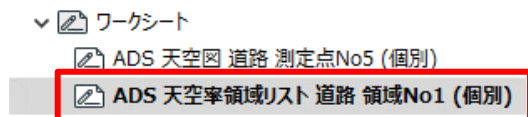
4) 天空率サブパレットより、「表出力」を選択します。

The screenshot shows the same software interface as before, but the '表出力' button is highlighted with a red box.

5) 「ワークシートに出力」ダイアログが開きます。

6) 「OK」を選択します。

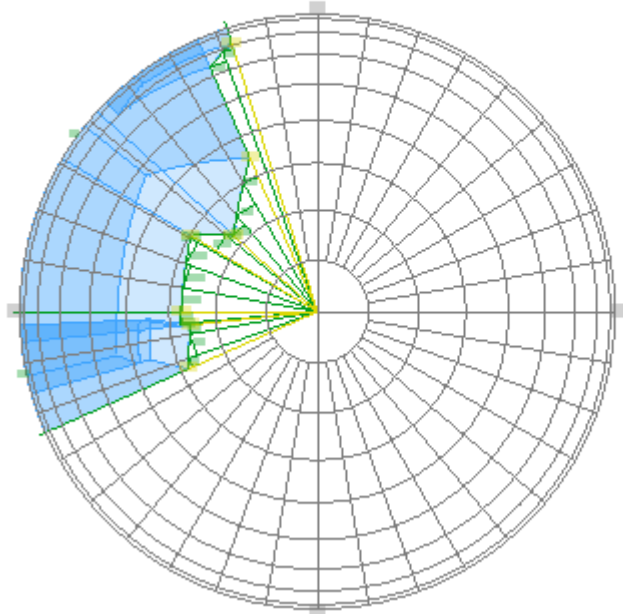
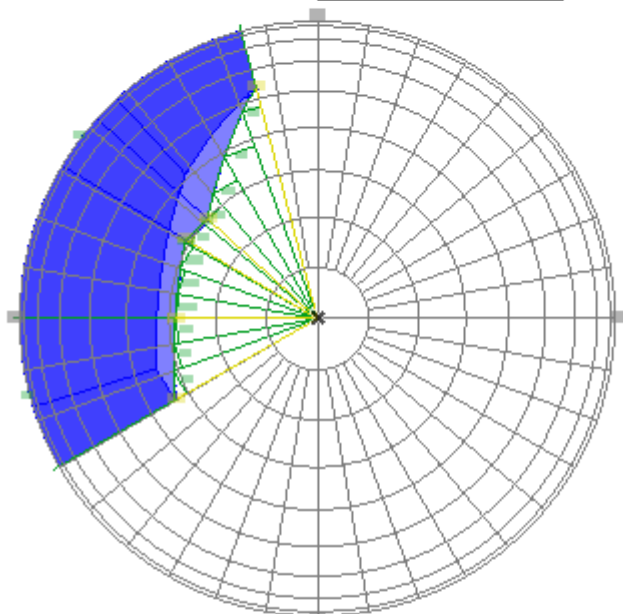
7) 「ADS 天空図 道路 測定点 No5(個別)」及び「ADS 天空率領域リスト 道路 領域 No1(個別)」ワークシートが作成されます。



ワークシート

ADS 天空図 道路 測定点No5 (個別)

ADS 天空率領域リスト 道路 領域No1 (個別)



6-7-1-1 天空図を確認する

[操作手順]

1) 「ADS 天空図道路 測定点 No5(個別)」ワークシートを選択します。

2) 出力された表及び図を確認します。

・適合建築物及び計画建築物、天空率位置確認表及び計画建築物天空率三斜求積表

天空率位置確認表〔道路斜線〕

指定点	建物高さ	水平距離	仰角	方位角	r cos(h)
(1)	23.168m	13.902m	59.034°	-59.045°	51.45mm
(2)	17.543m	10.051m	60.191°	-47.744°	49.71mm
(3)	17.658m	23.489m	36.934°	-14.913°	79.93mm
(4)	23.063m	15.210m	56.596°	240.269°	55.05mm
(5)	23.117m	12.548m	61.507°	270.000°	47.70mm

天空率位置確認表〔道路斜線〕

指定点	建物高さ	水平距離	仰角	方位角	r cos(h)
(A)	24.343m	13.902m	60.270°	-59.045°	49.59mm
(B)	24.343m	10.051m	67.565°	-47.744°	38.16mm
(C)	24.343m	16.635m	55.654°	-23.746°	56.42mm
(D)	7.243m	20.694m	19.292°	-17.743°	94.38mm
(E)	26.743m	14.285m	61.890°	246.047°	47.12mm
(F)	26.743m	12.731m	64.543°	264.063°	42.98mm
(G)	24.343m	12.548m	62.731°	270.000°	45.82mm

天空率三斜求積表〔道路斜線〕、半径=100mm

No	底辺〔mm〕	高さ〔mm〕	面積〔mm ² 〕
S1	49.060	8.316	203.992
S2	51.488	8.520	219.339
S3	55.243	8.703	240.390
S4	79.934	6.516	260.425
S5	73.473	10.834	398.004
S6	62.387	9.442	294.530
S7	54.375	6.707	182.347
S8	50.127	1.959	49.100
S9	51.582	7.881	203.259
S10	51.582	0.857	22.103
S11	51.351	8.506	218.396
S12	48.983	8.312	203.574
S13	47.887	8.312	199.019
三斜：合計(S)			2694.478
F1	29.731°		2594.510
F2	75.087°		6552.615
扇形：合計(F)			9147.125
合計 (S1-F-S)			6452.647
天空図面積(S2)			31415.927
天空率((S2-S1)÷S2×100)			79.461%

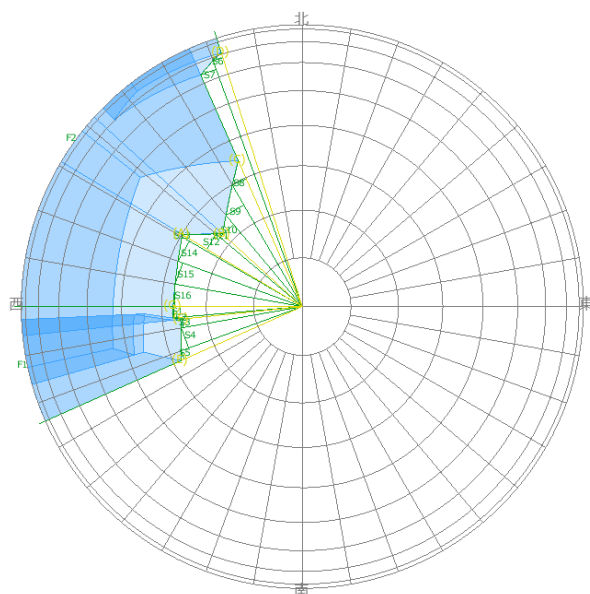
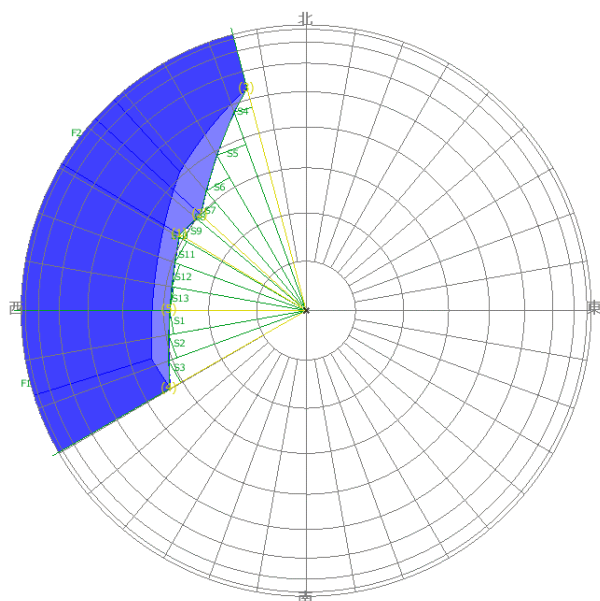
天空率三斜求積表〔道路斜線〕、半径=100mm

No	底辺〔mm〕	高さ〔mm〕	面積〔mm ² 〕
S1	46.231	3.975	91.884
S2	46.231	0.719	16.620
S3	43.557	3.045	66.315
S4	45.835	7.563	173.325
S5	47.115	3.159	74.418
S6	94.384	3.650	172.250
S7	92.677	5.853	271.219
S8	56.418	5.415	152.751
S9	49.713	7.318	181.899
S10	42.146	5.142	108.357
S11	39.948	1.502	30.000
S12	49.591	6.280	155.715
S13	49.591	0.821	20.357
S14	49.294	8.150	200.873
S15	46.939	7.955	186.699
S16	45.816	7.955	182.233
三斜：合計(S)			2084.915
F1	23.953°		2090.269
F2	72.257°		6305.635
扇形：合計(F)			8395.904
合計 (S1-F-S)			6310.989
天空図面積(S2)			31415.926
天空率((S2-S1)÷S2×100)			79.911%

※「求積図形ごとに丸目処理を行う」の設定によって、出力される天空率三斜求積表の形式が異なります。初期設定では「建築確認のための基準総則・集団規定の適用事例 2017 年度版 第2章 6 天空率 安全率 (4) 計算過程における小数点以下の取り扱い」に対応した形式で出力されます。

「簡易設定」ダイアログの「条件設定」より設定できます。

・適合建築物及び計画建築物、三斜求積天空図



6-7-1-2 天空率領域リストを確認する

[操作手順]

- 1) 「ADS 天空率領域リスト道路 領域 No1(個別)」ワークシートを選択します。
- 2) 出力された表及び図を確認します。

・天空率領域条件表

天空率領域条件表 道路斜線

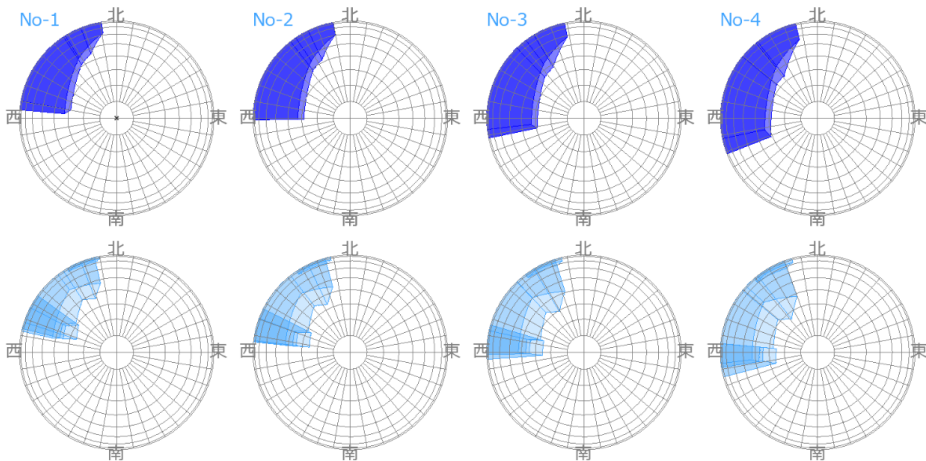
境界線	用途地域	後退距離	最大道路	道路幅員	適用距離	地盤高	基本処理	掃録処理	適合	測定点	ヒッチ	クルーフ	種類
1	準住居/70/320	3.000m	8.000m	5.000m	30.000m	0.000m	基本	する	[延長-延長]	[適合-適合]	2.454m		自動
1	準住居/70/320	3.000m	8.000m	5.000m	30.000m	0.000m	基本	する	[延長-延長]	[適合-適合]	2.458m		自動
3	準住居/70/320	3.000m	8.000m	8.000m	30.000m	0.000m	基本	しない	[延長-延長]	[適合-適合]	4.000m		自動

・天空率測定点リスト

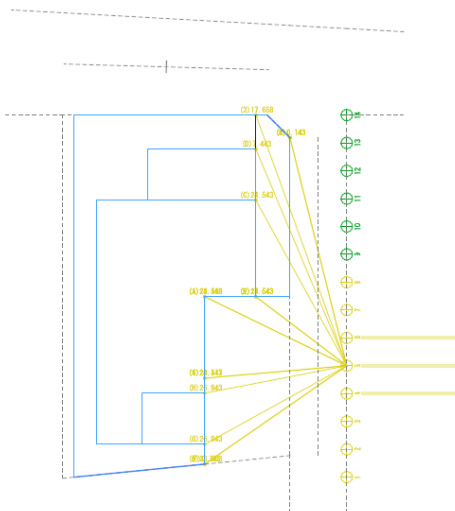
天空率測定点リスト[道路斜線] 領域=1

No	境界線	タイプ	X	Y	Z	天空率1(システム計算)				天空率2(求積計算)			
						適合	計画	差	判定	適合	計画	差	判定
1	1	基本	-1.900m	-5.000m	-0.014m	86.759%	87.620%	0.861%	○	—	—	—	—
2	1		0.554m	-5.000m	0.004m	85.410%	86.111%	0.701%	○	—	—	—	—
3	1		3.008m	-5.000m	0.021m	83.091%	83.859%	0.768%	○	—	—	—	—
4	1		5.462m	-5.000m	0.039m	81.066%	81.675%	0.609%	○	81.103%	81.663%	0.560%	○
5	1		7.915m	-5.000m	0.057m	79.420%	79.920%	0.500%	○	79.461%	79.911%	0.450%	○
6	1		10.369m	-5.000m	0.074m	78.170%	78.708%	0.538%	○	78.213%	78.692%	0.479%	○
7	1		12.823m	-5.000m	0.092m	77.303%	78.110%	0.807%	○	—	—	—	—
8	1		15.277m	-5.000m	0.109m	76.791%	78.127%	1.336%	○	—	—	—	—
9	1		17.731m	-5.000m	0.127m	76.673%	78.851%	2.178%	◎	—	—	—	—
10	1		20.185m	-5.000m	0.144m	77.061%	80.428%	3.367%	◎	—	—	—	—
11	1		22.638m	-5.000m	0.162m	78.108%	82.846%	4.738%	◎	—	—	—	—
12	1		25.092m	-5.000m	0.179m	80.010%	85.223%	5.213%	◎	—	—	—	—
13	1		27.546m	-5.000m	0.197m	82.894%	87.863%	4.969%	◎	—	—	—	—
14	1		30.000m	-5.000m	0.214m	86.538%	89.866%	3.328%	◎	—	—	—	—

・全天空図一覧



・天空率算定領域



6-7-2 全ての天空率算定領域を出力する

[操作手順]

- 1) 平面図ビューを選択します。
- 2) 天空率サブパレットより、「表出力」を選択します。



全ての天空率算定領域を出力する場合は、天空率算定領域及び測定点の選択は必要ありません。

- 3) 「ワークシートに出力」ダイアログが開きます。
- 4) 「全領域出力」にチェックを入れます。

A screenshot of a dialog box titled '天空率計算>ワークシートに出力'. The dialog has a close button (X) and a help button (?). The main text says '出力するワークシート名を入力して下さい。'. There is a checked checkbox labeled '全領域出力'. Below this are two panels. The left panel is titled '天空率領域リスト' and contains: 'ADS 天空率領域リスト 道路 全領域', a text field for '参照ID' with 'ADS', a text field for '名前' with '天空率領域リスト', a checked checkbox '斜線種別を追加する' with radio buttons for '前方' and '後方' (selected), a checked checkbox '領域Noを追加する' with radio buttons for '前方' and '後方' (selected), and an unchecked checkbox '天空図を重ねて出力する'. The right panel is titled '天空図' and contains: 'ADS 天空図 道路 全領域', a text field for '参照ID' with 'ADS', a text field for '名前' with '天空図', a checked checkbox '斜線種別を追加する' with radio buttons for '前方' and '後方' (selected), a checked checkbox '測定点Noを追加する' with radio buttons for '前方' and '後方' (selected). At the bottom right are 'キャンセル' and 'OK' buttons.

- 5) 「OK」を選択します。

- 6) 「ADS 天空図 道路 全領域(個別)」及び「ADS 天空率領域リスト 道路 全領域(個別)」ワークシートが作成されます。

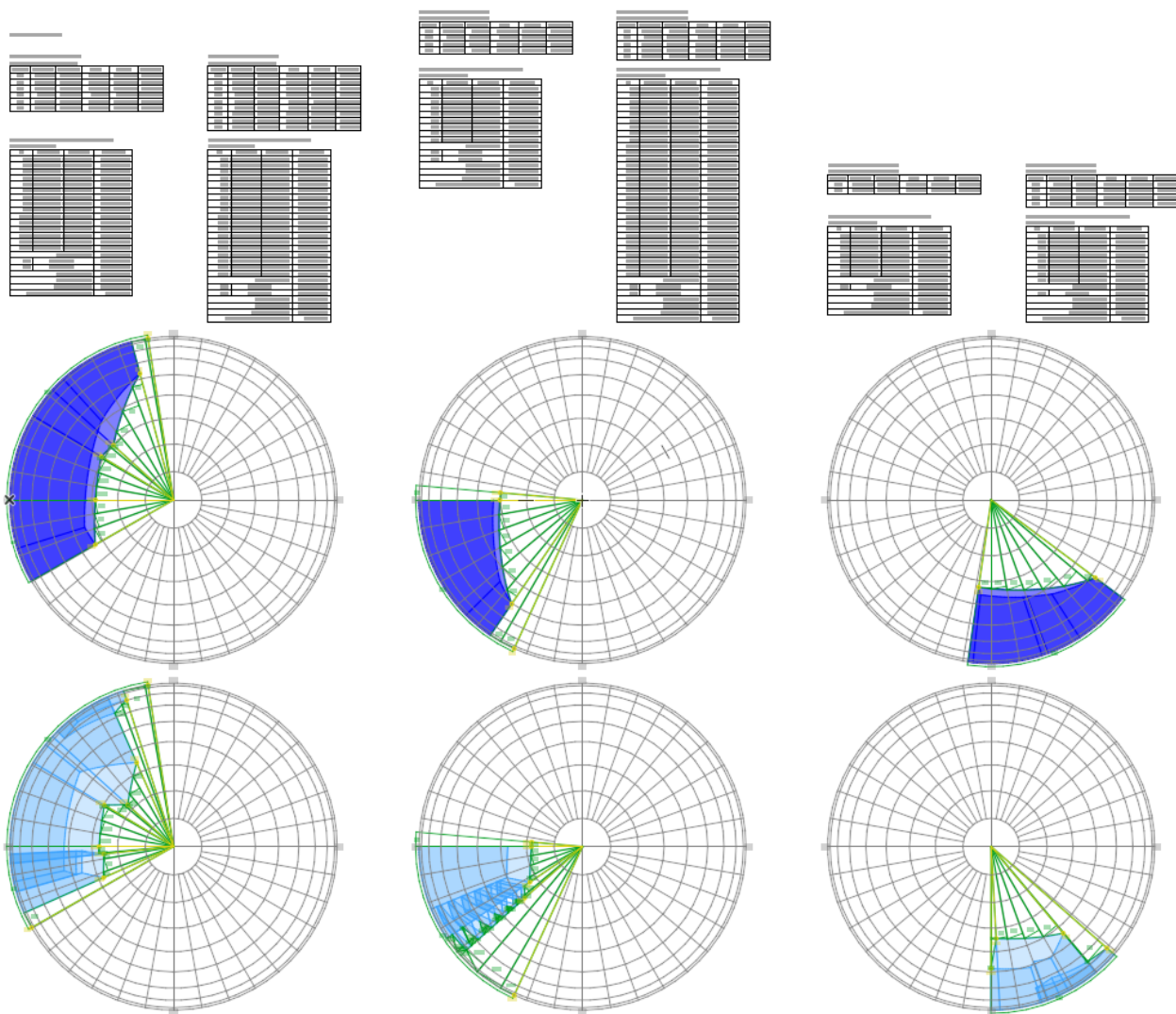
▼ ワークシート

ADS 天空図 道路 全領域 (個別)

ADS 天空図 道路 測定点No5 (個別)

ADS 天空率領域リスト 道路 全領域 (個別)

ADS 天空率領域リスト 道路 領域No1 (個別)



全ての天空率算定領域の近接点の天空図が一括出力されます。

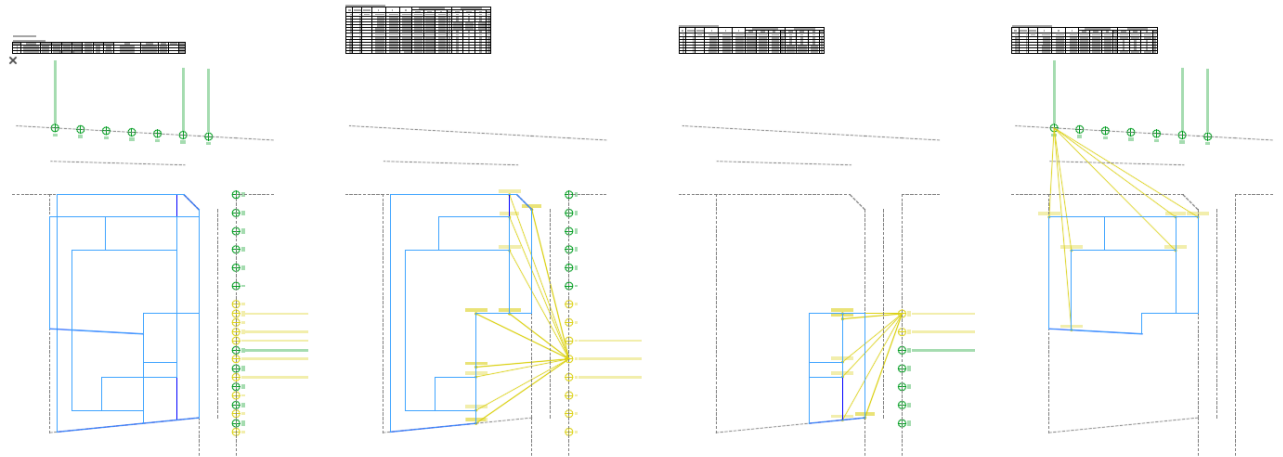
▼ ワークシート


ADS 天空図 道路 全領域 (個別)

ADS 天空図 道路 測定点No5 (個別)

ADS 天空率領域リスト 道路 全領域 (個別)

ADS 天空率領域リスト 道路 領域No1 (個別)



 全て天空率算定領域の平面図が一括出力されます。
一番左側は全ての天空率算定領域を一括表示した図です。

-
- ・本書およびこのプログラムは、著作権上、生活産業研究所株式会社に無断で使用、複製することはできません。
 - ・このプログラムは、使用する本人がバックアップの為にコピーする場合を除き、コピーすることを禁じます。
 - ・本書およびこのプログラムの運用上のトラブルについては、責任を負いかねます。
 - ・本書およびこのプログラムの内容は、予告なしに変更することがあります。
-

ADS-BT for ARCHICAD Ver15トレーニングマニュアル
2025 年 3 月初版

製作・発行
生活産業研究所株式会社
〒153-0043 東京都目黒区東山 1-6-7 フォーラム中目黒
